

令和3年度入学生1年次開講

シラバス

共通科目

令和3年度開講授業科目一覧表

共通科目

こ と ば と 人 間	武 内 康 則	6P
音 楽 と は 何 か	柚 木 たまみ	8P
近 江 学 入 門	秋 山 元 秀	10P
国 際 地 理	秋 山 元 秀	12P
テ レ ビ 映 像 と 現 代 社 会	山 本 泰 弘	14P
教 育 を 考 え る	笹 倉 千佳弘	16P
心 理 学	早 川 滋 人	18P
心 と 身 体 の ヘ ル ス ケ ア	神 村 有 紀	20P
生 活 文 化 論	森 治 子	22P
子 ど も 社 会	笹 倉 千佳弘	24P
子 ど も の 世 界	松 村 都 子	26P
日 本 国 憲 法	渡 邊 暁 彦	28P
現 代 の 健 康	田 中 裕 之	30P
数 の 不 思 議	久 米 央 也	32P
デ ー タ 分 析 入 門	小 山 内 幸 治	34P
健 康 ス ポ ー ツ 論 (食 健 康 / ラ イ フ)	山 村 聡	36P
健 康 ス ポ ー ツ 論 (ビ ジ コ ミ)	山 村 聡	38P
ス ポ ー ツ 実 技 (テ ニ ス) (食 健 康 / ラ イ フ / ビ ジ コ ミ)	山 中 博 史	40P
ス ポ ー ツ 実 技 (フ ィ ッ ト ネ ス) (食 健 康 / ラ イ フ / ビ ジ コ ミ)	北 尾 岳 夫	42P
ス ポ ー ツ 実 技 (パ レ ー) (食 健 康 / ラ イ フ / ビ ジ コ ミ)	山 村 聡	44P
ス ポ ー ツ 実 技 (ボ ウ リ ン グ & ゴ ル フ)	北 尾 岳 夫 史 山 中 博	46P
ス ポ ー ツ 実 技 (キ ャ ン プ)	北 尾 岳 夫 史 山 中 博	48P
ス ポ ー ツ 実 技 (ス ノ ー ス ポ ー ツ)	北 尾 岳 夫 史 山 中 博	50P
日 本 語 I	清 水 美 里	52P
日 本 語 II	清 水 美 里	54P
英 語 I	篠 直 樹	56P
英 語 I	内 田 幸 代	58P
英 語 II	篠 直 樹	60P
英 語 II	内 田 幸 代	62P
フ ラ ン ス 語 I	柴 田 秀 樹	64P
フ ラ ン ス 語 II	柴 田 秀 樹	66P
中 国 語 I	李 景 芳	68P
中 国 語 II	李 景 芳	70P
キ ャ リ ア 基 礎 演 習 (食 健 康)	山 岡 ひとみ	72P
キ ャ リ ア 基 礎 演 習 (製 菓 ・ 製 パ ン / ラ イ フ)	山 岡 ひとみ	74P
キ ャ リ ア 基 礎 演 習 (幼 教)	松 井 典 子 他	76P
キ ャ リ ア 基 礎 演 習 (ビ ジ コ ミ)	江 見 和 明 他	78P

<p>生 活 文 化 入 門</p>	<p>中 平 真 由 巳 清 水 ま ゆ み 原 井 知 子 石 倉 千 佳 弘 笹 倉 ひと み 山 岡 友 理 子 灰 藤 梨 花 河 村 梨 花</p>	<p>80P</p>
<p>子 ど も 理 解 入 門</p>	<p>北 尾 岳 夫 柚 木 た ま み 深 尾 秀 一 久 米 秀 央 也 李 上 佳 霞 三 井 典 子 松 井 久 欣 子 永 久 欣 也</p>	<p>82P</p>
<p>ビ ジ ネ ス 入 門</p>	<p>沖 山 圭 子 小山内 幸 治 山中 博 史 江見 和 明 若生 眞 理 中 村 吉 弘 伊 澤 亮 介</p>	<p>84P</p>

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
ことばと人間	武内 康則(非常勤)	1年次	前期	2	講義	選択	実務経験
Human and Language							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・ことばに関する基礎的知識の学習を通じて、「ことば」と「人間」と「社会」との関係について理解する。							
授業の内容 私たちは「ことば」というものを普段何気なく使っているが、そこには大変面白い現象・事実がたくさん観察される。国語や英語の時間に習った「文法」とは一味違う、ことばの世界の奥深さを学んでみよう。 毎回の授業後、テーマに関連したコメントシートを提出する。							
教科書	なし						
参考書	授業中に紹介する						
担当者からのメッセージ	日ごろからことばというものに親しみを持ってください。 配付したプリントはすべてファイルにとじて、レポート執筆に備えてください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回提出してもらったコメントシートからピックアップしたものを、翌週の授業で紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業後に提出するコメントシート				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	授業内容からテーマをひとつ選び、レポートを作成する				
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	yasunori.takeuchi@st.sumire.ac.jp（武内）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	イントロダクション：ことばとは何か？	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
2 /	言語と方言	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
3 /	地域方言	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
4 /	ことばと年齢差	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
5 /	ことばと性差	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
6 /	ことばの機能	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
7 /	ことばの変化	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
8 /	ことばと場面・状況	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
9 /	ことばと文化・世界観	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
10 /	比喩表現・ことわざ・慣用句	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
11 /	日本語と世界の言語	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
12 /	ことばの系統と類型	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
13 /	消滅の危機に瀕したことば	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
14 /	レポート作成について	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
15 /	まとめ・レポート提出	武内	レポートの推敲	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
音楽とは何か	柚木たまみ(専 任)	1年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Consideration to Music							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・音楽と人間とのつながりを知り、音楽とは何かを考える。 ・音楽のルーツと歴史について知り、様々な音楽のジャンルに触れる。 ・音楽の持つ「力」を学ぶ。							
授業の内容 この授業は、教員の長年にわたる音楽表現者としてのキャリア、また音楽療法士としての臨床経験を反映させた講義内容である。 音楽とは何であるか。音楽は、人間にとってなくてはならないものである。 授業では、毎回異なったテーマで音楽について知り、考えていく。目には見えない音楽というものを、実際に私たちはどのように感じているのかを改めて意識してほしい。 レポートを通して、質問や感想等を伝えてもらい、また、学生相互の意見交換もしていく。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	音楽経験の有無は問いません。 自分の音楽に対する既知の知識と思いを、毎回の授業参加時のレポート内容で反映してください。 そして、さらに新しい音楽についての視点を見つけてください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回提出してもらった小レポートの内容について、受講生全体で共有できるように質問等への回答を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	毎回授業の最後に小レポートを書く				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	授業最終回到提示テーマによるレポートを作成する				
	その他	10	プレゼンテーションの機会に積極的な参加を評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	柚木研究室 金曜日 12時15分～13時 その他随時受付 電子メールによる事前予約が望ましい						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp (柚木)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション(授業構成と取り組み方) 「音楽とは何か」(1) 自分にとっての音楽とは、生活の中の音楽	柚木	講義	講義ノート作成	30
2 /	「音楽とは何か」(2) 音楽の定義と特性、様々な捉え方	柚木	講義	講義ノート作成	60
3 /	「音楽のルーツ」	柚木	講義	講義ノート作成	45
4 /	「時代と音楽」(1) 古代、中世の音楽	柚木	講義	講義ノート作成	45
5 /	「時代と音楽」(2) バロック、古典派の音楽	柚木	講義	講義ノート作成	45
6 /	「時代と音楽」(3) ロマン派、そして近現代の音楽	柚木	講義	講義ノート作成	45
7 /	「声楽と器楽」	柚木	講義	講義ノート作成	45
8 /	「音楽と舞踊」	柚木	講義	講義ノート作成	45
9 /	「音楽と劇場」	柚木	講義	講義ノート作成	45
10 /	「西洋と日本」	柚木	講義	講義ノート作成	45
11 /	「世界の様々な音楽」	柚木	講義 学生によるプレゼンテーションについて告知	講義ノート作成 プレゼンテーション準備	60
12 /	「ポピュラー音楽」	柚木	講義 学生によるプレゼンテーション レポートのテーマについて告知	講義ノート作成 プレゼンテーション準備 レポート準備	90
13 /	「音楽療法」(1) 音楽療法とは その定義について	柚木	講義	講義ノート作成 レポート準備	90
14 /	「音楽療法」(2) 音楽療法の様々な在り方	柚木	講義	講義レポート作成 レポート準備	90
15 /	まとめ	柚木	講義 レポートについてのアドバイス	講義レポート作成 レポート準備、作成	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
近江学入門	秋山 元秀(専 任)	1年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
Introduction to the Study of Oumi (The Old Name of Shiga)							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・近江という土地がどのようにして生まれ、どのようにして現在の滋賀県になったかを理解し、滋賀県のことに関心をもつことができるようになる。 ・近江ではぐくまれた多様な地域文化を知り、近江独特の地域性がどのようにして作られたかを理解し、身近な地域がその中でどのような位置を占めるか説明できるようになる。							
授業の内容 近江というのが古代日本に生まれた国の一つであることから始めて、その国がどのような性格の地域であったかを述べる。そしてその中でどのような産業が発達し、どのような文化が生まれたのか、それらが現在にどのように引き継がれて滋賀県になったのかを明らかにする。授業ではできるだけ映像や地図を使い、滋賀県のことをあまり知らない人でもわかりやすいように心がける。積極的に授業に参加してもらうためにアクティブ・ラーニングの手法を取り入れる。							
教科書	なし						
参考書	個々のテーマについては授業中指示するが、全体的なものとしては以下のものを推薦する 『街道をゆく』司馬遼太郎シリーズの「1湖西のみち」「24近江散歩」(朝日文庫) 価格(本体600円～800円) 『近江山河抄』白洲正子(講談社文芸文庫) 価格(本体1100円)						
担当者からのメッセージ	毎回出席して授業に積極的に参加することが評価のポイントとして重要である。毎回の授業に際しては、授業内容や関連するテーマについてミニレポートを書かせる。それにまじめに取り組むことが大切である。またテーマをめぐってディスカッションやグループ学習をしてもらうが、この場合も積極的な発言をポイントとする。テーマに応じて実際に現地に出かけてフィールドワークを行なうためのガイダンスを行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	ミニレポートに寄せられた質問や意見は次の時間に紹介する。長文のレポートは添削して返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業に対する積極的な態度を発言や討論の様子から評価する				
	授業内試験	40	授業中のミニテストへの取り組みを評価する				
	定期試験	30	総合的な問題の理解度をチェックする				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	学長室 月曜日 13時～15時 事前にメールで要件と希望時間帯を知らせること						
担当教員E-mail	m-akiyama@sumire.ac.jp (秋山)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オウミ(近江・淡海) とはどんな意味?シガ(滋賀・志賀) とは?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+ディスカッション	授業で何が理解できたか振り返ること	90
2 /	近江の歴史を知ろう。隣の京都や福井の歴史とも関連しているだろうか?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
3 /	近江の特徴はどんなところだろうか?それを考えるための材料は?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
4 /	近江の文化というと何がある?たとえば芸能・お祭りなど	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+フィールドワークの案内	授業で何が理解できたか振り返ること	90
5 /	近江の産業というと何がある?たとえばお米・魚など	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
6 /	「ふなずし」 食べたことがありますか? 「ふなずし」 ってどんな寿司?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
7 /	近江という何をイメージする?なんでもあげてみて?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+プレゼンテーション	授業で何が理解できたか振り返ること	90
8 /	近江商人って何?聞いたことがありますか?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+グループ学習	授業で何が理解できたか振り返ること	90
9 /	滋賀県にはどんな町がある?知っている町をあげてみて	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
10 /	まず大津 大津はどんな町?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+フィールドワークの案内	授業で何が理解できたか振り返ること	90
11 /	ひこにゃんは知ってますか?ひこにゃんのいる町彦根はどんな町?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
12 /	大津・彦根以外に知っている町は?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
13 /	滋賀県で観光で有名なところは?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+プレゼンテーション	授業で何が理解できたか振り返ること	90
14 /	滋賀県を案内するとしたらどこを推薦しますか?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
15 /	みんなの滋賀県おすすめは?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+ディスカッション	授業で何が理解できたか振り返ること	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
国際地理	秋山 元秀(専 任)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
International Geography							
資格等取得との関連		観光実務士資格の選択					
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界各地がどのような特徴をもち、それがどのように生まれてきたのかを、自然、歴史、民族、文化など、多様な側面から理解できるようにする。 ・現代世界の基本的な大地域区分とされるヨーロッパやアジア、アフリカなどが、どのようにして成立したのか、世界の文明圏の構造とあわせて理解できるようにする。 ・このような現代世界のなかで日本がどのような位置にあるか、共通するところと異なるところを分析し、一つの地域としての日本のありかたを考えられるようにする。 <p>授業の内容</p> <p>最初に世界を地理的に見る視点について述べ、それを踏まえて世界各地がどのような特色をもっているか、とくに一定の範囲をもつ地域性が、どのような歴史的背景や文化的特色によって形成されているのかを述べる。個々の地域について述べる際には比較するという方法を重視する。またその地域が日本とどのようにかわり、これからどういう関係ができればよいかを考える。</p> <p>あわせて現代世界がかかえる地域格差の問題や地域間・国家間の紛争などの問題の背景にある地理的要因についても触れていきたい。</p> <p>アクティブ・ラーニングの手法を取り入れ、積極的な発言や討論ができるようにする。</p>							
教科書	なし						
参考書	講義の中で各テーマごとに参考文献を紹介する 受講時にはどのようなものでもよいから世界地図（例えば中学の地理分野の地図帳）をもっていることが望ましい						
担当者からのメッセージ	基礎的な知識としては、高等学校で地理を履修していなくても、中学での社会科地理分野程度の学習で十分である。日常的に政治・経済に限らず、文化でもスポーツでも、現代世界で起こっている様々な出来事に関心をもってほしい。とくに新聞の国際欄、テレビやネットの国際ニュースに目を通すような習慣をつけてほしい。 受講態度は講義中での発問に対する回答や、質問による積極性を評価する。毎回授業の最後に小テストを実施し、講義への理解度や意欲を見るようにする。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回実施する小テストの結果や質問を次回に材料として取り上げ前回の講義を補う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業中の積極的な発言や討論に対する態度を評価する				
	授業内試験	40	小テストへの取り組みを評価する				
	定期試験	30	全体を通じての理解度と課題への取り組み方を評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	学長室 月曜日 13時～15時 メールで事前に予約すること						
担当教員E-mail	m-akiyama@sumire.ac.jp (秋山)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	世界地図を眺めて：なぜ国際地理を学ぶのか	秋山	講義・小テストの実施 +ディスカッション	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
2 /	世界の東西南北：地域の多様性と共通性をど のように理解するか	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
3 /	アジアは一つか？：東洋と西洋という捉えか たは有効か	秋山	講義・小テストの実施 +グループ討論	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
4 /	東アジアと中華世界：中国・朝鮮・日本	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
5 /	東南アジアとインド世界：海洋アジアの交易 世界	秋山	講義・小テストの実施 +新聞調べ	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
6 /	中近東というとらえかた：文明の交流と衝突	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
7 /	ヨーロッパは一つか？：ローマ帝国からEU まで	秋山	講義・小テストの実施 +ディスカッション	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
8 /	地中海と北海：ヨーロッパの南北問題	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
9 /	東欧・中欧とバルカン世界：辺境地域の統合 と分断	秋山	講義・小テストの実施 +ニュースをみる	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
10 /	ロシアとシベリア：ユーラシアをまたぐ国家 形成	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
11 /	南北アメリカ・オーストラリア：移民によっ てつくられた新世界	秋山	講義・小テストの実施 +グループ討論	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
12 /	アメリカとカナダ：現代技術社会を生みだし た開拓精神と新興国家	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
13 /	ラテンアメリカ：もうひとつのアメリカ	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
14 /	アフリカ：その問題と将来性	秋山	講義・小テストの実施	講義で配付した資料を参考に して復習し、次のテーマに対 する予習を行う	90
15 /	国際化とグローバル化の中の世界と 日本	秋山	講義・小テストの実施 +ディスカッション	講義全体を見直し、定期試験 の準備をする	120
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
テレビ映像と現代社会	山本 泰弘(非常勤)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
TV picture in modern society							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・ テレビニュースや番組がどのように作られているか、ネットの情報と何が違うのかを学ぶことで、溢れる情報の中から正しい情報を見分ける目を養う。 ・ ニュース原稿や番組企画書を実際に作ることで、よりの確で効果的な情報の伝え方、プレゼンの方法を学ぶ。 ・ 放送におけるコンプライアンスを学ぶことで、社会において他人を傷つせず、自分を守る基本を理解する。							
授業の内容 放送局でニュース取材、番組制作に携わってきた教員がその経験を活かし、「情報の受け取り方、伝え方」について講義を行う。 テレビはおよそ70年に渡り、膨大な情報を人々に提供してきた。今はそこに「ネット」が加わり、社会には情報が溢れている。 授業ではテレビの変遷と社会の動きを振り返りながらインターネットとの違いを検証し、「正確な情報、誤った情報」の見極め方を学び「有益な情報」を得る目を養う。 また「ニュース原稿の書き方」や「番組企画書の作り方」を体験し、第三者に「正確に、より効果的に情報や意図を伝えるノウハウ」を習得する。 さらに「放送で人を傷つけないルール」などを参照にして実際の事例を検証し、「企業のガバナンス」「社会人としてのコンプライアンス」の基礎を学ぶ。							
教科書	なし						
参考書	なし						
担当者からのメッセージ	情報は人から人へ伝播するうちに変異する。現代は様々な媒体から情報が入ってくる。その中から「正しい情報」を選び取り、「正確に」人に伝えていく力を身につけて欲しい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業の過程で、実際にニュースや番組企画書を作成し提出。さらに発表してもらおう。発表時に何が良くて、何を変えたらよいかの講評を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	授業で「気になったニュース」を披露してもらい、発表内容、態度などを評価				
	授業内試験	60	授業で課されたテーマをどのように理解し、実践したかを評価				
	定期試験						
	レポート	30	期末の最後に「何を得たのか」をレポートで提出、授業目標到達度を評価				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	yamahon1027@gmail.com (山本)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	自己紹介 授業予定説明	山本	講義	講義の復習	180
2 /	テレビの歴史と現状	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
3 /	テレビとネット社会	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
4 /	メディアとしてのテレビ	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
5 /	ニュースはどう作られる 課題1 「ニュース原稿作成実習」	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
6 /	テレビと政治	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
7 /	災害報道の重要性 課題1 提出	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
8 /	これからのニュースの視点 課題1 フィードバック	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
9 /	テレビ番組の裏側 課題2 「グループで番組企画作成」	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
10 /	ドラマ、バラエティー番組の現状	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
11 /	課題2発表(番組企画プレゼン) フィードバック	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
12 /	コロナ禍で何が変わったか レポート課題 提示	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
13 /	放送局のコンプライアンス	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
14 /	ハラスメントとは何か 小テスト「ハラスメントについて」	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
15 /	まとめ レポート提出	山本	講義	1週間のニュースのチェック 講義の復習	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
教育を考える	笹倉千佳弘(専 任)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
On Education							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・日本の教育状況に関する基本的な事項を理解する。 ・日本の教育状況を相対化・対象化するための視点を獲得する。 ・レポート作成をとおして論理的な文章が書けるようになる。							
授業の内容 日本の教育状況を理解するうえで必要となる基礎的事項を学ぶ。その際、子どもとおとなの関係という視点から、子ども社会の意味世界にふれることができるように講義する。なお教科書（『育つ・育てる・育ちあうー子どもとおとなの関係を問い直すー』井上寿美・笹倉千佳弘、明石書店）は授業内で販売する。							
教科書	なし						
参考書	『わかちあい』の共育学 基礎編、齋藤尚志・笹倉千佳弘・井上寿美、明石書店（本体2000円+税）						
担当者からのメッセージ	本授業では、教員の話聞くだけでなく、自ら「考える」ことを重視している。そのための手立てとしてバズ・セッションなどのアクティブ・ラーニングの手法を取り入れており、受講生の積極的な授業参加を受講態度の評価観点とする。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業時にミニテストを実施した際は、その問題を利用して授業内容の振り返りをおこなう。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	受講生が積極的に授業に参加しているかどうかを評価観点とする				
	授業内試験	30	基本的な事柄が理解できているかどうかを評価観点とする				
	定期試験						
	レポート	30	自分の言葉で論じることができているかどうかを評価観点とする				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	笹倉研究室 木曜日 12時40分～13時15分						
担当教員E-mail	c-sasakura@sumire.ac.jp（笹倉）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	開講にあたって	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：シラバスを読んで こと 復習：本授業全体の見通しを たてる	90
2 /	子どもへのまなざし(その1)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
3 /	子どもへのまなざし(その2)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
4 /	子どもとおとなのかかわり(その1)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
5 /	子どもとおとなのかかわり(その2)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
6 /	子どもの育つ場(その1)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
7 /	子どもの育つ場(その2)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
8 /	中間のまとめ	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
9 /	子ども理解について考える(その1)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
10 /	子ども理解について考える(その2)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
11 /	自己肯定感について考える(その1)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
12 /	自己肯定感について考える(その2)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
13 /	仲のよさについて考える(その1)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
14 /	仲のよさについて考える(その2)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
15 /	閉講にあたって	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
心理学	早川 滋人(非常勤)	1年次	前期	2	講義	選択	実務経験
Psychology							
資格等取得との関連	准学校心理士資格の選択						
授業の到達目標 ・教育心理学に関する基本的な知識を理解する。 ・学習、記憶、動機づけなどについて心理学的な理解を深める。 ・学校場面における集団の機能と学習援助について理解を深める。							
授業の内容 公認心理師として、心理学的視点から教育や心理機能について講義を行う。学習理論、言語機能、記憶、情報処理、動機づけ、集団性と学習環境など、学校場面での人の発達と学習について焦点を当てる。それにより、人がどのように学び、なにを学び成長するかを理解し、その支援ができるようになることを目指す。							
教科書	なし						
参考書	授業中に指示する						
担当者からのメッセージ	PPTを用いて講義を行う。各自ノートを作成すること。 欠席や遅刻などについて大学のルールに従う。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業の最後に「授業の振り返り（感想や質問）」の提出を求める。質問については必要に応じて、次回授業にて回答する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業の振り返りを確認する				
	授業内試験						
	定期試験	70	授業の内容全般について理解度を評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教師で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	shayakawa@sumire.ac.jp（早川）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 学習とは(1) 勉強との違い、人が学ぶ理由	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
2 /	学習とは(2) 刷り込み、臨界期、学習の原動力	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
3 /	学習と言語 言語の獲得、言語と概念、言語の3つの機能	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
4 /	学習と記憶 記憶の機序、記憶の脳機能、記憶と情動、 特殊な記憶	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
5 /	情報処理と注意機能 入力と出力、注意の選択性と拡散性、知覚、 認知、意志決定	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
6 /	学習理論(1) 条件付け学習	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
7 /	学習理論(2) 観察学習、自己学習、試行錯誤学習	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
8 /	認知機能の発達 ピアジェの発達理論	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
9 /	動機づけ 内発的動機づけと外発的動機づけ、メタ認知、 学習性無力感	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
10 /	バンデューラの自己効力感 「ボボ人形実験」、自己効力感の測定、自己 効力感を高める4つの要素	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
11 /	学習の個人差 性格と学習 (BigFive理論)、学習困難… 発達障害、学習支援 特別支援教育	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
12 /	認知カウンセリングによる学習支援 認知カウンセリングとは、6つの技法	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
13 /	学校の集団性 集団の定義、凝集性と仲間外れ、学校にある 様々な集団と帰属性	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
14 /	学校の集団性 集団の定義、凝集性と仲間外れ、学校にある 様々な集団と帰属性	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
15 /	総括 振り返りとまとめ	早川	講義	受講ノートの振り返り	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
心と身体のヘルスケア	神村 有紀(非常勤)	1年次	前期	2	講義	選択	実務経験
Healthcare of Body and Mind							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・「心と身体の健康」という観点から、主に心理学、リラクゼーションやストレス理論を用いて、自分自身の心身の状態を見直すことができる。 ・講義で習得したことを、実際の日常生活に応用し、自分自身の「心身の健康」について考察することができる。							
授業の内容 本講義では、主なストレス理論と心身の健康に有効なさまざまな対処法をとりあげ、講義する。一般的なストレス・マネジメント法を中心に、心身のセルフケアとして広く親しまれ、実践しやすいものを取り上げ、その背景にある人間観や健康観に留意しつつ学んでいく。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	この科目は講義科目ですが、一方的に聞くだけで終わらせるのではなく、実際に、日常の生活の中で、自分自身に適切なセルフケアを実践することを目標としています。 受講態度の評価は、できる限り積極的に参加し、学ぼうとする姿勢で臨まれているかをポイントとし、毎回の小レポートの内容等に基づいて判断します。また、授業内容とは無関係の私語や作業について、見受けられた場合は減点対象とするので、注意してください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出されたレポートは、共通の見解、深く考察された内容、また誤解しやすい点等を取り上げ、次回の授業の中でコメントしていく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	毎回授業内で提出を求めるショートレポートの内容を評価する				
	授業内試験						
	定期試験	80	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	kmyuki-a@st.ritsumei.ac.jp（神村）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	はじめに 本講義の目的と「健康」の定義について	神村	講義	授業ノートを見直す	30
2 /	ストレスと健康1 ストレスの定義とストレス理論の基礎知識	神村	講義	授業ノートを見直す	30
3 /	ストレスと健康2 ストレス反応のメカニズムとコーピング	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
4 /	ストレスと健康3 心身相関と自律訓練法1	神村	講義	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
5 /	ストレスと健康4 心身相関と自律訓練法2	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
6 /	人間関係と健康1 交流分析理論でみつめる自己の人間関係	神村	講義	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
7 /	人間関係と健康2 アサーション・トレーニングと自己のコミュ ニケーションスタイル	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
8 /	心身の健康とボディワーク1 ヨーガの歴史と健康観	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
9 /	心身の健康とボディワーク2 ヨーガ実践の基礎知識とセルフケア	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
10 /	東洋の健康文化と心身の健康 東洋医学的健康観とストレス	神村	講義	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
11 /	アロマセラピーと心身の健康1 ハーブ、アロマセラピーの基礎知識	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
12 /	アロマセラピーと心身の健康2 ハーブ、アロマセラピーと心身のセルフケア	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
13 /	アロマセラピーと心身の健康3 バッチフラワーレメディと感情のセルフケア	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
14 /	「内なる子ども」と心身の健康	神村	講義	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
15 /	「健康」について再考する	神村	講義とレポート	授業ノートを見直す	30
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
生活文化論	森 治子(非常勤)	1年次	前期	2	講義	選択	実務経験
Cultural Studies of Living							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・講義で紹介する様々な生活文化を通して、日本文化の特徴や特質について理解を深め、他国の文化についても関心をもつことができるようになる。 ・社会と文化と人びとの暮らしとの関係性を理解し、学生ひとりひとりが自分自身のライフスタイルについて考えることができるようになる。 ・日本の文化やライフスタイルについて自分の言葉で説明し、表現できる力を身につける。							
授業の内容 生活文化とは人が生活していくための技術や手段である。この授業では日本人が日常生活のなかでどのような行動や考え方をしてきたか、そのことが生活にどのように反映されてきたかということ、衣食住や遊びに関する文化から考察する。 また、生活のなかで継承されてきた様々な技術や生活道具をとりあげることによって、文化の多様性について検討する。							
教科書	なし						
参考書	必要に応じて授業時に紹介する。						
担当者からのメッセージ	教科書は使用しないので、教材プリントや資料を配付する。 講義内容の理解を深めるために、昔の映画やドラマ、ドキュメンタリー作品等を鑑賞することがあるので、私語は慎むこと。 疑問に感じたことやわからないことがあれば、積極的に質問をしたり、自分から調べる習慣を身につけてほしい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業時に提出する課題や感想文は翌週の授業でまとめて講評し、解説する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業時に提出を求める小課題やコメントペーパー				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	授業内容の理解度と到達目標の達成度を総合的に評価する				
	その他	20	復習を兼ねた課題の提出				
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	mori916hrk@gmail.com（森）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	生活文化を学ぶための方法について	森	講義	講義内容の復習	90
2 /	衣生活に関する文化1 和装と洋装(1) 古代～近世	森	講義	講義内容の復習	90
3 /	衣生活に関する文化2 和装と洋装(2) 明治・大正・昭和	森	講義	講義内容の復習	90
4 /	衣生活に関する文化3 日本の色彩と化粧文化	森	講義	講義内容の復習	90
5 /	住まいに関する文化1 日本の住まいとくらしのスタイル(1) 住まいの変遷	森	講義	講義内容の復習	90
6 /	住まいに関する文化2 日本の住まいとくらしのスタイル(2) ライフスタイルと間取り	森	講義	講義内容の復習	90
7 /	住まいに関する文化3 日本の住まいとくらしのスタイル(3) ライフステージと住まい	森	講義	講義内容の復習	90
8 /	食に関する文化1 食の起源	森	講義	講義内容の復習	90
9 /	食に関する文化2 和食と洋食	森	講義	講義内容の復習	90
10 /	食に関する文化3 伝統行事と行事食	森	講義	講義内容の復習	90
11 /	食に関する文化4 喫茶と菓子の文化	森	講義	講義内容の復習	90
12 /	食に関する文化5 環境問題と食生活	森	講義	講義内容の復習	90
13 /	四季の行事と遊びの文化1 春から冬夏の行事と祭り	森	講義	講義内容の復習	90
14 /	現代の社会とライフスタイル2 夏から冬の行事と祭り	森	講義	講義内容の復習	90
15 /	まとめ	森	講義	レポートをまとめる	120
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子ども社会	笹倉千佳弘(専 任)	1年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
Child Society							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・子どもがおかれている社会を理解するうえで必要となる基礎的事項を身につける。 ・子どもがおかれている社会を相対化・対象化するための視点を獲得する。 ・レポート作成等をとおして論理的な文章が書けるようになる。							
授業の内容 子どもがおかれている社会を理解するうえで必要となる基礎的事項を、事例の検討をとおして学ぶ。その際、個別具体的な問題を、基本的人権の尊重と社会構造という2つの視点から読み解く。							
教科書	『わかちあい』の共育学 応用編 子どもと共に未来図を描こう(仮) 笹倉千佳弘・齋藤尚志・井上寿美 (明石書店) 価格(本体●●●●円+税)						
参考書	『わかちあい』の共育学 基礎編、齋藤尚志・笹倉千佳弘・井上寿美、(明石書店)、2000円+税						
担当者からのメッセージ	本授業では、教員の話聞くだけでなく、自ら「考える」ことを重視している。そのための手立てとしてバズ・セッションなどのアクティブ・ラーニングの手法を取り入れており、受講生の積極的な授業参加を受講態度の評価観点とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	授業時にミニテストを実施した際は、その問題を利用して授業内容の振り返りをおこなう。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	受講生が積極的に授業に参加しているかどうかを評価観点とする				
	授業内試験	30	基本的な事柄が理解できているかどうかを評価観点とする				
	定期試験						
	レポート	30	自分の言葉で論じることができているかどうかを評価観点とする				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	笹倉研究室 木曜日 12時40分～13時15分						
担当教員E-mail	c-sasakura@sumire.ac.jp (笹倉)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	開講にあたって	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：シラバスを読んで こと 復習：本授業全体の見通しを たてる	90
2 /	「学ぶ」について考える(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
3 /	「学ぶ」について考える(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
4 /	「働く」について考える(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
5 /	「働く」について考える(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
6 /	「理解する」について考える(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
7 /	「理解する」について考える(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
8 /	中間のまとめ	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
9 /	「保障する」について考える(基本的事項)	笹倉	記録映画の視聴	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
10 /	「保障する」について考える(発展的事項)	笹倉	記録映画の視聴と議論	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
11 /	「自立する」について考える(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
12 /	「自立する」について考える(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
13 /	「支援する」について考える(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
14 /	「支援する」について考える(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
15 /	閉講にあたって	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子どもの世界	松村 都子(専 任)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・授業を通して、子どもの世界について考え、関心をもって授業に参加することができる。 ・子ども時代を想起しながら、子どもの育ちについて考えるようになり、子どもに関わる大人の存在について自分なりの考えをもつことができる。							
授業の内容 幼児教育・保育現場・行政での経験を踏まえ、講義・演習を行う。 自分の子ども時代を思い出したり子どもの遊びや暮らしについて考えたりしながら、子どもの世界について学ぶ。子どもの遊びや暮らしの場面を取り上げ、子どもがどんな経験をし、何を学んでいるのかを理解を深めながら、子どもに関わる一人の大人としての自分を見つめていく。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	子どもの遊びや暮らしをじっくり見てみると、子どもの世界のおもしろさに気づき、さらに育つことが愛おしく思えるようになります。また、改めて自分について考えることにつながります。 受講態度については、授業に積極的に参加し、真面目に遊び、考えることができていたかを評価します。授業の終わりには、自分なりの考えをまとめる小レポートを実施します。 授業によって持ち物等必要な時は随時お知らせします。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	小レポートは次週に返却する。また、必要に応じ授業内で小レポートの内容を口頭でフィードバックする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	積極的に授業に参加していることを評価する				
	授業内試験	30	自分なりの考えを論じているかを評価する				
	定期試験						
	レポート	30	授業の終わりに小レポートを実施する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付けます						
担当教員E-mail	m-matumura@sumire.ac.jp（松村）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	開講にあたって	松村	講義と演習	講義内容をまとめる	90
2 /	私の子どもの頃	松村	講義と演習	講義内容をまとめる	90
3 /	何度もくり返すということ	松村	講義と演習	講義内容をまとめる	90
4 /	言葉をもたない頃	松村	講義と演習	講義内容をまとめる	90
5 /	子どもとおはなし1	松村	講義と演習・実技	講義内容をまとめる	90
6 /	子どもとおはなし2	松村	講義と演習・実技	講義内容をまとめる	90
7 /	子どもとおはなし3	松村	講義と演習・実技	講義内容をまとめる	90
8 /	あそびうたを遊ぶ1	松村	講義と演習・実技	講義内容をまとめる	90
9 /	あそびうたを遊ぶ2	松村	講義と演習・実技	講義内容をまとめる	90
10 /	子どもと散歩	松村	講義と演習	講義内容をまとめる	90
11 /	作ること・道具を使うこと	松村	講義と演習	講義内容をまとめる	90
12 /	好きな場所・居心地よさ	松村	講義と演習	講義内容をまとめる	90
13 /	きかんぼう・けんか・もめごと	松村	講義と演習	講義内容をまとめる	90
14 /	子どもらしさと大人	松村	講義と演習	講義内容をまとめる	90
15 /	閉講ににあたって(総括) (小テスト)	松村	講義と演習	講義内容をまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
日本国憲法	渡邊 暁彦(非常勤)	1年次	前・後期	2	講義	選択	○
							実務経験
Constitution of Japan							
資格等取得との関連		栄養教諭二種免許の必修、幼稚園教諭二種免許の必修					
授業の到達目標 ・憲法の意義及び役割について、私たちの身のまわりの事柄と結びつけて理解するとともに、それを分かりやすく説明できる。 ・現代社会において人権がどのように保障されているか、日々のニュース（時事的な話題）と関連づけて理解できる。 ・国家と個人との関係に着目し、民主主義社会における市民としての責務を自覚できる。							
授業の内容 「憲法」ときいて、あなたはどのようなイメージを持つだろうか。最近、「憲法」について目にする・耳にする機会も増えてきている。本講義では、小・中学校や高等学校などでの憲法学習で得られた知識をもとに、より体系的に日本国憲法の全体像を理解することを目的とする。特に、私たちの身近な生活にかかわる事柄や人権保障をめぐる問題を中心に、あらためて憲法とは何か、その意義や役割等について受講者全員で考えてみたい。なお、このシラバスは対面授業を想定して作成している。							
教科書	『スタート憲法【第3版】 吉田仁美編（成文堂） 価格（本体1,600円＋税）						
参考書	芦部信喜『憲法【第七版】』（2019年、岩波書店） 吉田仁美・渡辺暁彦編『憲法判例クロニクル』（2016年、ナカニシヤ出版） その他、適宜、授業時に指示する						
担当者からのメッセージ	現代社会の諸事象に興味・関心をもってほしい。そのために、まずは日々の新聞及び雑誌記事の切り抜きを心がけてほしい。コロナ禍の状況にもよるが、可能であれば授業時に発言、コメントを求めたいと考えている。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	理解度を確認するための小テストや課題等については、授業時に解説・コメントを行ったうえで適宜返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	授業への参加態度、コメント用紙の記入、小レポート、小テスト等を含む。				
	授業内試験						
	定期試験	60	重要な語句・概念、判例等に対する基本理解を問う内容				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後にその教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	aki@edu.shiga-u.ac.jp（渡邊）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	法とは何か、憲法とは何か	渡邊	講義・質疑応答	テキストの目次、プロローグに目を通して、言葉の意味などを確認しておくこと	30
2 /	比較のなかの日本国憲法 ～日本国憲法は諸外国の憲法と比べて「新しい憲法」なのか？	渡邊	講義・質疑応答	授業の内容を復習し、授業で取り上げた何れかの国の憲法の特徴についてまとめておくこと	60
3 /	日本国憲法はどのように作られたのか ～日本国憲法の制定過程を振り返る	渡邊	講義	授業で示す課題についてレポートを作成すること	180
4 /	人権総論 ～人権の観念、権利と義務、私人間効力論など	渡邊	講義・質疑応答	「身近な生活のなかの人権問題」についてまとめておく	90
5 /	人権は誰のもの？	渡邊	講義・質疑応答	テキスト第2章に目を通して、言葉の意味などを確認しておくこと	90
6 /	人権保障の現在（1）自己決定権とプライバシー	渡邊	講義・グループワーク	テキスト第3章に目を通して、言葉の意味などを確認しておくこと	90
7 /	人権保障の現在（2）法の下での平等	渡邊	講義・質疑応答	テキスト第4章に目を通して、言葉の意味などを確認しておくこと	90
8 /	人権保障の現在（3）表現の自由を中心に精神的自由について	渡邊	講義・質疑応答	テキスト第5章、第6章、第7章のなかで指定した箇所に目を通して、言葉の意味を確認しておくこと	90
9 /	人権保障の現在（4）経済活動の自由	渡邊	講義・質疑応答	テキスト第8章に目を通して、言葉の意味などを確認しておくこと	90
10 /	人権保障の現在（5）社会権	渡邊	講義・質疑応答	テキスト第10章に目を通して、言葉の意味などを確認しておくこと	90
11 /	人権保障と権力の分立	渡邊	講義・質疑応答	「統治機構総論」に目を通して、言葉の意味などを確認しておくこと	60
12 /	国会と選挙 ～政治参加をめぐる問題	渡邊	講義・討論	テキスト第11章、第12章に目を通して、言葉の意味などを確認しておくこと	90
13 /	内閣 ～議院内閣制と首相公選論	渡邊	講義・質疑応答	テキスト第13章に目を通して、言葉の意味などを確認しておくこと	90
14 /	あなたも裁判官？ ～裁判所、裁判員制度を中心に	渡邊	講義・討論	テキスト第14章に目を通して、言葉の意味などを確認しておくこと	90
15 /	まとめ ～憲法改正論議と私たち	渡邊	講義・質疑応答	最近の憲法改正論議について、各自の考えをまとめておくこと	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
現代の健康	田中 裕之(専 任)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Introduction to Nutrition and Health Sciences							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・「生きている」ことの基本を理解する。 ・マスメディアにみられる「二セ科学」について理解する。 ・科学的思考方法の有効性と限界について知る。							
授業の内容 医療の経験を持つ教員が担当する。 健康に生きるための知識として、食事（栄養素）、摂取エネルギー、消費エネルギー、細胞の仕事、生体内のエネルギー通貨ATP、脳による代謝の統合について解説する。 さらに、健康や栄養に関連したマスメディアにみられる「二セ科学」について勉強する。 講義資料を配付する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	いろいろな授業科目（学問分野）は相互に関連しあって、つながっています。このことを念頭に置いて勉強してください。 受講時、ちょっとした疑問点など何でも気軽に質問してください。授業への積極的な参加を期待します。 授業への積極的な参加（議論やコメント）を特に評価の対象とします。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題については翌週に返却し、解説する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業への積極的な参加（議論やコメント）を特に評価の対象とする				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	講義内容に関連した約10項目の用語から3項目ほどを選択して、レポートする（考察を重視する）				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	田中研究室 水曜日 9時～14時						
担当教員E-mail	h-tanaka@sumire.ac.jp（田中）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	生きるためには食べなければならない	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
2 /	栄養素を分類する	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
3 /	ビタミンとは何か	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
4 /	ビタミン様作用物質	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
5 /	ビタミン発見小史1：概観	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
6 /	ビタミン発見小史2：脚気	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
7 /	ビタミン発見小史3：日本人の活躍	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
8 /	ビタミン発見小史4：ナイアシン欠乏症（ペラグラ）	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
9 /	医学領域における自己人体実験	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
10 /	アミノ酸代謝の特徴：糖質や脂質の代謝とどこがちがうのか	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
11 /	必須アミノ酸とタンパク質の栄養価（アミノ酸スコア）	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
12 /	生きるために必要なエネルギーの量	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
13 /	生き物の細胞内エネルギー通貨ATP	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
14 /	エネルギー代謝の脳（視床下部）による調節と統合	田中	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
15 /	マスメディアに見られるニセ科学：生（なま）のつく言葉、健康食品のウソ・ホント、科学の言葉で人をだます	田中	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
数の不思議	久米 央也(専 任)	1年次	後期	2	講義	選択	
							実務経験
							○
Wonder of Mathematics							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・数・量・図形に関する各国の古来からの問題やパズルを解く中で、数学の歴史を学び、数学的思考力を身につけることができる。 ・数・量・図形の美しさや不思議さに触れることで、数学に興味・関心を持って積極的に授業に参加できる。							
授業の内容 小学校教員の経験を持つ教員が担当する。 数・量・図形に関する古来からの各国の様々な問題やパズルを解説を加えながら一緒に考え、グループで検討していく。その中で、数学の歴史や、数の持つ美しさ、不思議さを実感していく。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	数学な苦手な人でも、あきらめず積極的に取り組みば大丈夫である。数学的に考える力をつけることは、社会で出会う様々な問題を解決するのに役に立つはずである。成績評価のうち「受講態度」については、毎回の授業での課題に積極的に取り組んでいたかを中心に評価する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題については授業中に取り上げ説明する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	積極的に授業に参加しているかを評価する				
	授業内試験	40	授業内容が理解できているかについて授業の復習テストを行う				
	定期試験						
	レポート	20	授業の終わりに課題を出し、授業の理解ができていないかを評価する				
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 12時15分～12時50分（事前予約が望ましい）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 論理力 (うそつき問題) 直観力 (マッチ棒問題) 数の不思議 (答えの予言の謎)	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
2 /	論理力 (川渡り問題) 数の不思議 (電卓の謎・9999の謎) 数の誕生 数字の進化	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
3 /	直観力 (マッチ棒問題・コイン問題) ガウスの定理 123123の謎 0の発見 (十進位取り記数法の誕生)	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
4 /	17列目の謎を解く 数列の不思議 (ピザを切ったら) フィボナッチ数列の不思議 素数の不思議	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
5 /	142857の謎 (巡回数) パンデジタル 世界最古の魔方陣の不思議 いろいろな魔方陣	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
6 /	かけ算ピラミッドの謎 立体図形の不思議 プラトン立体・サッカーボールの謎	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
7 /	平面図形の不思議 消えた1 cm ³ タングラム	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
8 /	12345679の謎 移動の不思議 究極のパズル (ハノイの塔) カエルの飛び越し	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
9 /	カプレカ数 一筆書きの不思議 ケーニヒスベルクの橋 オイラーの定理	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
10 /	数と比の不思議 黄金比・白銀比	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
11 /	÷99の謎 パラドックスの不思議 アキレスと亀 小テスト	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
12 /	測定の不思議 (古代の測定) ピタゴラスの定理 エラトステネスの発見 (地球を測定)	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
13 /	塵劫記を解く 俵杉算・カラス算・盗人算・入れ子算	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
14 /	塵劫記を解く 覆面算・盗人隠・小町算・円陣	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
15 /	まとめ 数の不思議を振り返る、小テスト	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
データ分析入門	小山内幸治(専 任)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・データ分析に必要な統計の基礎が理解できる。 ・EXCELを使って、実務データの分析ができる。							
授業の内容 データ処理に必要な統計の基礎を学び、さらにEXCELを用いて、実務データの分析を行うための手法を身につけることができる。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	実際のデータ処理にはEXCELを使います。この授業を受けるためには、EXCELの基礎知識を持っていることが必要です。また、ある程度算数の能力も必要となります。 この授業で取り扱った内容を理解すれば、実際のビジネス上のデータを分析することが可能になります。興味のある方は履修してください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎時間課題が提出されます。課題は、次の時間の最初に解答します。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	授業参加度・取り組みの態度				
	授業内試験						
	定期試験	70	コンピュータを用いたデータ分析の問題				
	レポート						
	その他	20	授業内課題				
自由記載							
オフィスアワー	小山内研究室 金曜日を除く昼休み 12時20分～12時45分 および授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	osanai@sumire.ac.jp (小山内)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス・データ分析の目的・データの形式	小山内	講義	データの形式を復習し、入力方法を理解しておく	60
2 /	度数分布・ヒストグラム	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
3 /	平均値・中央値	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
4 /	標準偏差・分散	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
5 /	順位・偏差値・ABC分析	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
6 /	相関関係・回帰分析	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
7 /	重回帰分析	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
8 /	時系列分析	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
9 /	平均の差の検定・分散の差の検定	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
10 /	独立性の検定・相関の検定・回帰の検定	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
11 /	実務データ分析Ⅰ (平均の差の検定・分散の差の検定)	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	ネット上に同じ手法で分析できる実務データはないかを考え、自分で分析してみる	90
12 /	実務データ分析Ⅱ (相関の検定・回帰の検定)	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	ネット上に同じ手法で分析できる実務データはないかを考え、自分で分析してみる	90
13 /	実務データ分析Ⅲ (回帰分析・重回帰分析)	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	ネット上に同じ手法で分析できる実務データはないかを考え、自分で分析してみる	90
14 /	実務データ分析Ⅳ (時系列分析)	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	ネット上に同じ手法で分析できる実務データはないかを考え、自分で分析してみる	90
15 /	まとめと試験対策	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	これまでの内容を復習する	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
健康スポーツ論 (食健康／ライフ)	山村 聡(非常勤)	1年次	後期	1	講義	選択	○
							実務経験
Child-care Subject Health							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の必修、幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・健康を維持、増進するために必要な知識の習得する。 ・生涯を健康に過ごすために必要な知識を実践する能力を身につける。							
授業の内容 健康とは何かを知り、維持・増進に必要な運動、栄養、休養についての正しい知識を得て実践する力を身につける。 自分自身の実際の生活習慣や現代の生活環境も振り返り、将来的な健康のために必要な取り組みとその実践方法について考察し、実行する力を養います。 資料の配付やスライド、映像を通じて授業を展開し、レポートの作成も評価対象とする。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	インターネットや新聞、テレビなど媒体は問わないので健康についての情報を積極的に得ておくこと。 自分自身の生活習慣も振り返り、授業内で発表できるようにしておくこと。 評価は積極的に参加する態度とレポート、授業内でのテストを対象に行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	レポートの作成方法は授業内で説明する。 作成したレポートは採点后、本人に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業に取り組む姿勢や態度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	授業内容の確認のため実施				
	その他	20	授業中の発表や提出物を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後にその教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	p3.yamamura@st.sumire.ac.jp						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	ガイダンス 健康の定義と現代社会	山村	講義	シラバスの内容を事前に確認しておく	30
2 /	身体の仕組みと働き	山村	講義	健康について興味のある事柄を3つ挙げて調べておく	60
3 /	運動と健康 1 生活における運動	山村	講義	身近に行われている運動について調べておく	60
4 /	運動と健康 2 生活の中のスポーツ	山村	講義	身の周りにあるスポーツが行える環境について考える	60
5 /	食事と健康 1 健康的な栄養摂取	山村	講義	自分の1週間の食生活を記録しておく	60
6 /	食事と健康 2 ダイエット	山村	講義	実践経験のあるダイエット法、聞いたことのあるダイエット法についてまとめる	60
7 /	睡眠と健康 適切な休養のとり方	山村	講義	自分の1日の活動、生活習慣についてまとめ、問題点について考える	60
8 /	授業のまとめ	山村	講義 確認試験	学習内容を整理し実践する方法を考える	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
健康スポーツ論 (ビジコミ)	山村 聡(非常勤)	1年次	後期	1	講義	選択	○
							実務経験
Child-care Subject Health							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の必修、幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・健康を維持、増進するために必要な知識の習得する。 ・生涯を健康に過ごすために必要な知識を実践する能力を身につける。							
授業の内容 健康とは何かを知り、維持・増進に必要な運動、栄養、休養についての正しい知識を得て実践する力を身につける。 自分自身の実際の生活習慣や現代の生活環境も振り返り、将来的な健康のために必要な取り組みとその実践方法について考察し、実行する力を養います。 資料配付やアクティブラーニングを通じて授業を展開し、レポートの作成も評価対象とする。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	インターネットや新聞、テレビなど媒体は問わないので健康についての情報を積極的に得ておくこと。 自分自身の生活習慣も振り返り、授業内で発表できるようにしておくこと。 評価は積極的に参加する態度とレポート、授業内でのテストを対象に行う。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	レポートの作成方法は授業内で説明する。 作成したレポートは採点后、本人に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験	50	理解度確認のためのテストを実施				
	定期試験						
	レポート	30	授業内容の確認のため実施				
	その他	20	授業中の発表や提出物を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後にその教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	p3.yamamura@st.sumire.ac.jp						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス 健康の定義と現代社会	山村	講義	シラバスの内容を事前に確認しておく	60
2 /	身体の仕組みと働き	山村	講義	健康について興味のある事柄を3つ挙げて調べておく	60
3 /	運動と健康 1 生活における運動	山村	講義	身近に行われている運動について調べておく	60
4 /	運動と健康 2 生活の中のスポーツ	山村	講義	身の周りにあるスポーツが行える環境について考える	60
5 /	食事と健康 1 健康的な栄養摂取	山村	講義	自分の1週間の食生活を記録しておく	60
6 /	食事と健康 2 ダイエット	山村	講義	実践経験のあるダイエット法、聞いたことのあるダイエット法についてまとめる	60
7 /	睡眠と健康 適切な休養のとり方	山村	講義	自分の1日の活動、生活習慣についてまとめ、問題点について考える	60
8 /	授業のまとめ	山村	講義 確認試験	学習内容を整理し実践する方法を考える	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
スポーツ実技(テニス) (食健康/ライフ/ビジコミ)	山中 博史(専 任)	1年次	前期	1	実技	選択	
							実務経験
Practical Skills in Sports (Tennis)							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的なルールを理解する。 ・基本的な技術を習得する。 ・基本的な戦術を理解する。 ・他者とのコミュニケーションをとりながらゲームを楽しめる。 ・日常生活内の運動の必要性を理解する。 							
授業の内容 <p>社会に出る直前である大学生期に様々なスポーツ活動に親しみ、体力を維持するとともに運動習慣を獲得しておくことは重要である。また、様々なアクティビティを通じて人と人とのつながりに気付きコミュニケーション能力を涵養することは、その後の生涯にわたる心身の健康に大きな影響を及ぼすことが予想される。本学ではこの点を重視してスポーツ実技を必修科目として位置付け、様々なスポーツやアクティビティを通じて“健康なこころとからだ”への気付きと実践力の獲得をテーマに授業を実践していく。</p> <p>この授業では、基本的な技術練習を進めながら、最終的にはダブルスのゲームを楽しめるよう学習を進める。雨天時は体育館で授業を行うが、体育館の使用状況や人数的な条件から、テニス以外の種目となる場合もある。</p> <p>ウォーミングアップやクーリングダウンとして、ストレッチや簡単な筋力トレーニングも行う。コートでの準備や片付けなどにも、積極的に関わる。</p>							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	受講時の服装・シューズは種目にふさわしいものを着用し、胸部に名前を書いたゼッケンをつけること。 積極的に参加し、テニスを楽しんでください。 技術の課題は、サーブが10本中5本以上成功させること。二人でラリーが7本続くこととします。最終日に実技試験を行います。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	技術的なフィードバックは、毎回の授業の中で必要に応じて行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	練習や試合での取り組み、準備や後片付けに積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験	40	サーブ・グランドストロークの実技試験を行う				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	体育研究室 月・火・水曜日 16時30分～18時						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp (山中)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	ガイダンス 体育関係履修上の注意点の説明 各種目の説明	山中	講義	実施要項の理解	90
2 /	用具・コートの説明 ラケットとボールに慣れる ラケットの握り方	山中	実技	実技内容の振り返り	90
3 /	フォアハンドストローク 1本打ち (ペア交互に)	山中	実技	実技内容の振り返り	90
4 /	フォアハンドストローク 投げられたボールをフォアハンドで打ち返す	山中	実技	実技内容の振り返り	90
5 /	フォアハンドストローク ペアで打ち合う	山中	実技	実技内容の振り返り	90
6 /	バックハンドストローク 1本打ち (ペア交互に)	山中	実技	実技内容の振り返り	90
7 /	バックハンドストローク 投げられたボールを打ち返す	山中	実技	実技内容の振り返り	90
8 /	バックハンドストローク ペアで打ち合う	山中	実技	実技内容の振り返り	90
9 /	サーブ オーバーヘッドのサーブ練習	山中	実技	実技内容の振り返り	90
10 /	サーブとレシーブ	山中	実技	実技内容の振り返り	90
11 /	ボレー (フォアハンド・バックハンド)	山中	実技	実技内容の振り返り	90
12 /	シングルの簡易ゲームを楽しむ	山中	実技	実技内容の振り返り	90
13 /	ダブルスの簡易ゲームを楽しむ	山中	実技	実技内容の振り返り	90
14 /	ダブルスのゲームを楽しむ	山中	実技	実技内容の振り返り	90
15 /	実技試験 ・サーブ (10本中5本以上) ・グランドストロークの連続 (ペアで7回)	山中	実技試験	実技の習得	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
スポーツ実技(フィットネス) (食健康/ライフ/ビジコミ)	北尾 岳夫(専 任)	1年次	前期	1	実技	選択	○
							実務経験
Practical Skills in Sports (Fitness)							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 健康維持に重要な役割を果たす、3つのエクササイズについて理解する。 健康維持に重要な役割を果たす、3つのエクササイズの実践力を獲得する。 健康維持に重要な役割を果たす、3つのエクササイズを日常生活のなかに取り込む態度を身につける。 							
授業の内容 <p>社会に出る直前である大学生期に、様々なスポーツに親しみ体力を維持するとともに運動習慣を獲得しておくことは、生涯を健康な身体で過ごすために重要である。また、様々なアクティビティを通じてコミュニケーション能力を涵養することは、より豊かな生活を送ることにもつながる。このような観点から、様々なスポーツやアクティビティを通じた“健康なこころとからだ”への気付きと実践力の獲得をテーマに授業を実施する。</p> <p>フィットネスは16名の上限人数を設けます。受講希望者が上限人数よりも多い場合は、抽選で受講者を決定する。</p> <p>健康維持のキーワードは、体組成・心肺機能・筋力・柔軟性である。フィットネスの授業ではこれらの要素に注目し、理論的な学習も含めた実践を行う。具体的には、ストレッチング(柔軟性)・エアロビック(有酸素)・ストレングス(筋力)の3つのエクササイズを取り上げ、それぞれについての理解と実践力の獲得を目指す。理論的な講義も交えながら、Nordic Walkingや自重を利用した体幹トレーニング、またバランスボールなども利用して、からだへの気付き、をテーマに授業を行う。</p>							
教科書	なし						
参考書	『ストレッチ100の基本』 横山格郎・星川精豪 監修 (柘出版社) 『ノルディックウォーキング Starting book』 伊藤義昭 監修 (スキージャーナル) 『自重体幹トレ100の基本』 比嘉一雄 監修 (柘出版社)						
担当者からのメッセージ	受講時の服装・シューズは、担当者の指示にしたがうこと。 授業内容に応じて、ウォーキングに適したスニーカーや体育館用シューズが必要。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回、授業開始時に体組成(体重と体脂肪率)を測定・記録するとともに、その日の授業内容や自分のからだへの気付きなどの内容を含めた記録カードの提出を課す。この記録カードは、担当者がコメントし次回授業開始時に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業に対する積極的な姿勢				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	毎回提出する個人記録への記入状況				
自由記載							
オフィスアワー	北尾研究室 月曜～木曜 12時30分～13時00分						
担当教員E-mail	t-kitao@sumire.ac.jp (北尾)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	授業全体を把握する	北尾	講義	授業内容全体の理解	90
2 /	体組成計のセット ストレッチングEx.の基礎知識 ベーシックストレッチング	北尾	講義 実技	実技内容の理解と振り返り	90
3 /	エアロビックEX.の基礎知識 Nordic Walking (2.8km)	北尾	講義 実技	実技内容の理解と振り返り	90
4 /	Nordic Walking (3.7km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
5 /	Nordic Walking (4.0km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
6 /	Nordic Walking (4.8km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
7 /	Nordic Walking (5.4km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
8 /	Nordic Walking (6.2km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
9 /	ストレンクスEx.の基礎知識 自重ストレンクスEx. 体力測定(握力・閉眼片足立ち・上体起こし)	北尾	講義 実技	実技内容の理解と振り返り	90
10 /	体力測定(立位体前屈・立ち幅跳び・反復横跳び)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
11 /	体力測定(踏み台昇降)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
12 /	股関節ゆるゆるストレッチング バランスボールEx.	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
13 /	自重ストレンクスEx.(体幹)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
14 /	自重ストレンクスEx.(上肢)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
15 /	自重ストレンクスEx.(下肢)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
スポーツ実技(バレー) (食健康/ライフ/ビジコミ)	山村 聡(非常勤)	1年次	前期	1	実技	選択	○
							実務経験
							○
Practical Skills in Sports (Volleyball)							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・バレーボールの基本的なルールを理解する。 ・バレーボールの基本的な技術を習得する。 ・バレーボールの基本的な戦術を理解する。 ・スポーツを通じて周囲の人とのコミュニケーションができる。 授業の内容 <p>社会に出る直前である大学生期に様々なスポーツ活動に親しみ、体力を維持するとともに運動習慣を獲得しておくことは重要です。また、様々なアクティビティを通じて人と人とのつながりに気付きコミュニケーション能力を涵養することは、その後の生涯にわたる心身の健康に大きな影響を及ぼすことが予想されます。</p> <p>本学ではこの点を重視して様々なスポーツやアクティビティを通じた“健康なところからだ”への気付きと実践力の獲得をテーマに授業を実践しています。</p> <p>この授業では、未経験者でもラリーが続きやすい軽量のローインパクトボールを使用し、基本技術練習、戦術的な理解と工夫、そして技術レベルに応じたゲームを楽しみながら学習します。6人制バレーボールだけでなくとどまらず、生涯スポーツとして盛んに取り組まれているソフトバレーボールも取り上げます。</p> <p>ウォーミングアップやクーリングダウンとして、ストレッチや簡単な筋力トレーニングも行います。コートでの準備や片付けなどにも、積極的に関わります。</p>							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	経験の有無にかかわらず、積極的な参加態度、準備や後片付けなど協力姿勢、個人のスキル向上への努力度、スポーツを通じたコミュニケーションスキル等の総合評価で成績がつきます。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	技術的なフィードバックは、毎回の授業の中で必要に応じて行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	練習や試合での取り組み、準備や後片付けに積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験	50	実技試験				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に体育館で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	p3.yamamura@st.sumire.ac.jp						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス 体育関係履修上の注意点説明 種目の説明	山村	講義	実施要項の理解	90
2 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・オーバーハンドパス	山村	実技	実技内容振り返り	90
3 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・アンダーハンドパス	山村	実技	実技内容振り返り	90
4 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・スパイク	山村	実技	実技内容振り返り	90
5 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・サーブ	山村	実技	実技内容振り返り	90
6 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・三段攻撃	山村	実技	実技内容振り返り	90
7 /	ソフトバレーボールゲーム ・ポジションの理解	山村	実技	実技内容振り返り	90
8 /	ソフトバレーボールゲーム	山村	実技	実技内容振り返り	90
9 /	バレーボール基礎技術 ・オーバーハンドパスソフト ・アンダーハンドパス	山村	実技	実技内容振り返り	90
10 /	バレーボール基礎技術 ・サーブ ・レシーブ	山村	実技	実技内容振り返り	90
11 /	バレーボール基礎技術 ・スパイク	山村	実技	実技内容振り返り	90
12 /	バレーボール基礎技術 ・三段攻撃	山村	実技	実技内容振り返り	90
13 /	ゲーム ・ローテーション	山村	実技	実技内容振り返り	90
14 /	振り返り 実技試験	山村	実技試験	実技の習得	90
15 /	バレーボールゲーム ・ローテーション制	山村	実技	実技内容振り返り	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
スポーツ実技(ボウリング&ゴルフ)	北尾 岳夫(専 任)	1年次	前期集中	1	演習	選択	○
	山中 博史(専 任)						実務経験
Practical Skills in Sports (Bowling&Golf)							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・ボウリングのマナーと基本技術が分かり、楽しむことができる。 ・ゴルフのマナーと基本技術が分かり、楽しむことができる。 ・スポーツを通じて周囲の人とのコミュニケーションができる。							
授業の内容 社会に出る直前である大学生期に、様々なスポーツに親しみ体力を維持するとともに運動習慣を獲得しておくことは、生涯を健康な身体で過ごすために重要である。また、様々なアクティビティを通じてコミュニケーション能力を涵養することは、より豊かな生活を送ることにもつながる。このような観点から、様々なスポーツやアクティビティを通じた“健康なところからだ”への気付きと実践力の獲得をテーマに授業を実施する。 スポーツ実技(ボウリング&ゴルフ)は、夏期休暇中に両種目が開講される集中実技である。学内では経験できないスポーツにも触れることで、生涯に渡ってスポーツに親しみ、楽しむことのできる身体的教養を身につけることを目標とする。 事前ガイダンス(7月)を実施する。正当な理由なく欠席した場合、履修を認めないことがある。掲示等に充分注意して必ず出席すること。 以下の要領で両種目を実施する。 <受講上限数> 30名 ※受講希望者が上限人数を超えた場合は抽選を実施する。 <受講費用> 受講料として¥13,000が必要。 <その他> 感染症などの発生状況や受講希望者が少ない場合は開講しないことがあるので、卒業単位として見込む場合は注意すること。 <ボウリング> 日程：8月17日(火)～19日(木) ※気象警報等が発令された場合、20日(金)に追加開講する場合がある。 場所：栗東ボウリングジム <ゴルフ> 日程：9月13日(月)～16日(木) ※気象警報等が発令された場合、17日(金)に追加開講する場合がある。 場所：大津ロングゴルフ(13日～15日) 近江カントリー倶楽部(16日)							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	単位認定には、同一年度内でのボウリングとゴルフの双方での合格が必要である。 受講態度の観点として、必要に応じて編成されるグループ内での人間関係構築の様子や、技術的な課題への意欲などを設けます。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	技術的なフィードバックは、毎回の授業の中で必要に応じて行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	受講態度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	10	提出課題				
	その他	30	実技上達度				
自由記載							
オフィスアワー	北尾研究室 月～木曜日 12時30分～13時00分 山中研究室 火～金曜日 12時30分～13時00分						
担当教員E-mail	t-kitao@sumire.ac.jp (北尾) hyamanaka@sumire.ac.jp (山中)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	授業の全体を把握する	山中 北尾	講義 短大	実施要項の理解	90
2 /	ボウリングのルール・マナーの理解	北尾	講義 ボウリング場	内容の理解と整理	90
3 /	投球動作の基本技術	北尾	実技 ボウリング場	実技内容の振り返り	90
4 /	投球動作の技能化	北尾	実技 ボウリング場	実技内容の振り返り	90
5 /	スピアにつながる投球	北尾	実技 ボウリング場	実技内容の振り返り	90
6 /	スコアの理解とスコアメイクにつながる投球	北尾	講義 実技	内容の理解と整理	90
7 /	試合を楽しむ(個人戦)	北尾	実技 ボウリング場	実技内容の振り返り	90
8 /	試合を楽しむ(団体戦)	北尾	実技 ボウリング場	実技内容の振り返り	90
9 /	ゴルフのルール・マナーの理解	山中	実技 ゴルフ練習場	内容の理解と整理	90
10 /	スイングの基本技術	山中	実技 ゴルフ練習場	実技内容の振り返り	90
11 /	スイングの技能化	山中	実技 ゴルフ練習場	実技内容の振り返り	90
12 /	アイアン・ウエッジの理解と技術	山中	実技 ゴルフ練習場	実技内容の振り返り	90
13 /	フェアウェイウッドの理解と技術	山中	実技 ゴルフ練習場	実技内容の振り返り	90
14 /	バッティングの理解と技術	山中	実技 ゴルフ練習場	実技内容の振り返り	90
15 /	ラウンドを楽しむ	山中	実技 ゴルフコース	実技内容の振り返り	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
スポーツ実技(キャンプ)	北尾 岳夫(専 任)	1年次	前期集中	1	実技	選択	○
	山中 博史(専 任)						実務経験
Practical Skills in Sports (Camp)							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・人の多様性を理解する。 ・野外における共同生活をすることができる。 ・円滑なコミュニケーションを図ることができるようになる。							
授業の内容 社会に出る直前である大学生期に、様々なスポーツに親しみ体力を維持するとともに運動習慣を獲得しておくことは、生涯を健康な身体で過ごすために重要である。また、様々なアクティビティを通じてコミュニケーション能力を涵養することは、より豊かな生活を送ることにもつながる。このような観点から、様々なスポーツやアクティビティを通じた“健康なところからだ”への気付きと実践力の獲得をテーマに授業を実施する。 スポーツ実技(キャンプ)では、キャンプ場という自然の中の非日常的な環境のもとで、仲間と生活を共にして様々な「体験」を積み重ね、「協力」「コミュニケーション」の大切さについて再考することをねらいとしている。また、原体験(火・石・土・水・木・草・動物・ゼロ)を通して、“生きる力”について再考することもねらいのひとつである。個性を持つ“人”が集まり同じ目標に向かって協力していく中で、“本当に必要なもの”について考える機会としていただきたい。 事前学習として、前期期間中に2回の課題提出を課す。また、事前ガイダンス(7月)を実施するので必ず出席すること。 以下の日程・場所でキャンプを実施する。 <日程> 8月31日(火)～9月2日(木) 2泊3日 ※気象状況により9月7日(火)～9日(木)に日程変更する場合がある。 <場所> 希望が丘文化公園内野外活動センター <受講費用> 受講料として¥11,000が必要。 <受講上限数> 30名 ※受講希望者が多い場合は抽選を行う。 <その他> 感染症などの発生状況や受講希望者が少ない場合は開講しないことがあるので、卒業単位として見込む場合は注意すること。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	課題の未提出や事前ガイダンスの欠席は、受講を認めない場合がある。 事前ガイダンスの実施日は、後日、掲示にて発表する。 キャンプは、決められたグループによる共同生活となるので、積極的に他者と関わることでできる学生の受講を求める。 受講態度の観点として、グループ内での人間関係構築の様子や、グループやキャンプ全体への貢献度を設ける。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	事前課題については、キャンプ時に返却します。キャンプでの活動の参考にしてください。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	グループ内での人間関係性、及びキャンプ全体に関わる積極性				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	30	現地にて最終日に記述提出する振り返りレポート				
	その他	20	事前課題(10%×2回)				
自由記載							
オフィスアワー	北尾研究室 月～木曜日 12時30分～13時00分 山中研究室 火～金曜日 12時30分～13時00分						
担当教員E-mail	t-kitao@sumire.ac.jp(北尾) hyamanaka@sumire.ac.jp(山中)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観を希望する場合は、6月中に連絡してください。必要な費用は自己負担となります。)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	課題1 野外で可能な料理レシピを考える	北尾 山中	課題提出 短大	課題に関する下調べ	180
2 /	課題2 キャンプファイヤースタッツを考える	北尾 山中	課題提出 短大	課題に関する下調べ	180
3 /	授業の全体を把握する	北尾 山中	講義 短大	実施要項の理解	90
4 /	イニシアティブゲーム	北尾 山中	実技 グループワーク キャンプ場	活動の振り返り	90
5 /	野外炊事(野外調理での食材カット)	北尾 山中	実技 グループワーク キャンプ場	活動の振り返り	90
6 /	ナイトウォークラリー	北尾 山中	実技 グループワーク キャンプ場	活動の振り返り	90
7 /	野外炊事(野外調理での火加減調節)	北尾 山中	実技 グループワーク キャンプ場	活動の振り返り	90
8 /	ネイチャークラフト	北尾 山中	実技 キャンプ場	活動の振り返り	90
9 /	野外炊事(野外調理での省力化)	北尾 山中	実技 グループワーク キャンプ場	活動の振り返り	90
10 /	ディナーパーティーとスタッツの準備	北尾 山中	グループワーク キャンプ場	活動の理解と振り返り	180
11 /	野外炊事(野外調理での可能性への挑戦)	北尾 山中	実技 グループワーク キャンプ場	活動の振り返り	90
12 /	キャンプファイヤー(スタッツ)	北尾 山中	実技 グループワーク キャンプ場	活動の振り返り	90
13 /	野外炊事(直火を使わない野外調理)	北尾 山中	実技 グループワーク キャンプ場	活動の振り返り	90
14 /	撤収と環境整備	北尾 山中	実技 グループワーク キャンプ場	環境の理解 活動の振り返り	90
15 /	振り返り	北尾 山中	課題提出 キャンプ場	キャンプ全体の振り返りとまとめ	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
スポーツ実技(スノースポーツ)	北尾 岳夫(専 任)	1年次	後期集中	1	実技	選択	○
	山中 博史(専 任)						実務経験
Practical Skills in Sports (Snow Sports)							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・集団生活のルールやマナーを理解し、集団の一員として円滑な生活を送ることができる。 ・降雪地域での生活について理解する。 ・スノースポーツにおける安全について理解し、安全につながる行動の実践ができる。 ・スキーもしくはスノーボードで、自分の技術に合わせてスピードと回転弧をコントロールして滑ることができる。 							
授業の内容 <p>社会に出る直前である大学生期に、様々なスポーツに親しみ体力を維持するとともに運動習慣を獲得しておくことは、生涯を健康な身体で過ごすために重要である。また、様々なアクティビティを通じてコミュニケーション能力を涵養することは、より豊かな生活を送ることににつながる。このような観点から、様々なスポーツやアクティビティを通じた“健康なところからだ”への気付きと実践力の獲得をテーマに授業を実施する。</p> <p>スポーツ実技(スノースポーツ)では、スキーもしくはスノーボードを安全に楽しむことのできる知識と技術を習得し、生涯にわたって活動できるフィールドを雪上へも広げ、より豊かなスポーツライフを送ることのできる素養を身につけることを目標とする。また、宿泊を伴うので、共同生活・団体行動に必要なコミュニケーションや自己表現を考える機会にして欲しいと考える。</p> <p>以下の要領にて開講予定である。</p> <p><日程> 2022年1月28日(金)夜発~2月1日(火)朝発 4泊5日(車中2泊+現地2泊)</p> <p><場所> 新潟県妙高市 妙高杉ノ原スキー場</p> <p><受講費用> 受講料として¥28,000が必要。レンタル用品、リフト代、昼食代は別途必要。</p> <p><受講上限人数> 25名 ※受講希望者が多い場合は抽選を実施する。</p> <p><その他> 感染症などの発生状況や受講希望者が少ない場合は開講しないことがあるので、卒業単位として見込む場合は注意が必要である。</p>							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	本授業は、事前ガイダンスへの出席状況、現地の実技講習や講義の受講状況を受講態度として評価します。また、全実技講習修了後、現地で簡単な振り返りレポートを提出を求めます。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	受講生に課せられる主要な課題は、滑走技術の上達です。技術レベルに応じた班編制を行い、現地実技講習のなかで個人の技術レベルに応じたフィードバックを行います。また、円滑な集団生活を送ることも課題のひとつです。現地宿舎において、それぞれ必要に応じてフィードバックを行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	事前ガイダンスへの出席状況と現地の実技講習や講義の受講状況				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	10	現地にて最終日に提出する振り返りレポート				
	その他	30	技術的上達度				
自由記載							
オフィスアワー	北尾研究室 月~木曜日 12時30分~13時00分 山中研究室 火~金曜日 12時30分~13時00分						
担当教員E-mail	t-kitao@sumire.ac.jp (北尾) hyamanaka@sumire.ac.jp (山中)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観を希望する場合は、12月中に連絡してください。必要な費用は自己負担となります。)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	授業の全体を把握する	北尾 山中	講義	実施要項の理解	90
2 /	用具の準備	北尾 山中	宿舎内での用具(レンタル) 合わせ 個人装備の確認	必要な用具の確認と準備	90
3 /	実技講習1(1日目午後) ～基礎技術の確認～	北尾 山中	ゲレンデでの実技	講習内容を振り返りまとめる	90
4 /	実技講習2(1日目午後) ～基礎技術の技能化～	北尾 山中	ゲレンデでの実技	講習内容を振り返りまとめる	90
5 /	講義(スノースポーツの安全)	北尾 山中	宿舎内での講義	講義内容を振り返りまとめる	90
6 /	実技講習3(2日目午前) ～基本技術の確認～	北尾 山中	ゲレンデでの実技	実技内容を振り返りまとめる	90
7 /	実技講習4(2日目午前) ～基本技術の技能化～	北尾 山中	ゲレンデでの実技	実技内容を振り返りまとめる	90
8 /	実技講習5(2日目午後) ～滑走距離を伸ばす～	北尾 山中	ゲレンデでの実技	実技内容を振り返りまとめる	90
9 /	実技講習6(2日目午後) ～斜度への対応～	北尾 山中	ゲレンデでの実技	実技内容を振り返りまとめる	90
10 /	講義(スノースポーツの用具)	北尾 山中	宿舎内での講義	講義内容を振り返りまとめる	90
11 /	実技講習7(3日目午前) ～様々な状況への対応～	北尾 山中	ゲレンデでの実技	実技内容を振り返りまとめる	90
12 /	実技講習8(3日目午前) ～スピードをコントロールする～	北尾 山中	ゲレンデでの実技	実技内容を振り返りまとめる	90
13 /	実技講習9(3日目午後) ～ターン弧をコントロールする～	北尾 山中	ゲレンデでの実技	実技内容を振り返りまとめる	90
14 /	実技講習10(3日目午後) ～各自の滑走プランに沿って滑る～	北尾 山中	ゲレンデでの実技	実技内容を振り返りまとめる	90
15 /	振り返り	北尾 山中	実技講習記録と参加レポートの提出	期間中の実技講習、及び講義を振り返りまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
日本語 I	清水 美里(専 任)	1年次	前期	1	演習	選択	実務経験
Japanese I							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・大学生として必要な日本語の能力を養う。							
授業の内容 敬語表現を中心に、場面別の会話を学習する。 役割練習や簡単なスピーチを行う。 なお、この授業は外国人留学生対象科目である。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業のとき、辞書（電子辞書でもよい）を持ってくること。 配付したプリントを入れるファイルを準備すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題は添削をして、次の授業のときに返却する。 □頭発表などの活動は、そのときにコメント指導する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	積極性などの受講態度によって評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	60	授業課題の達成度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	清水研究室 水曜日 13時～15時						
担当教員E-mail	misato-shimizu@sumire.ac.jp（清水）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	自己紹介 実力確認テスト	清水	テストと解説	間違ったところをやり直す	60
2 /	敬語の基本	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
3 /	聴解・口頭表現(1) 勧誘する	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
4 /	聴解・口頭表現(2) 依頼する	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
5 /	聴解・口頭表現(3) 断る	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
6 /	聴解・口頭表現(4) 申し出る	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
7 /	聴解・口頭表現(5) 謝罪する	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
8 /	聴解・口頭表現(6) 意見を言う	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
9 /	聴解・口頭表現(7) 予約を受ける	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
10 /	聴解・口頭表現(8) サービスの敬語	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
11 /	聴解・口頭表現(9) 相談を受ける	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
12 /	聴解・口頭表現(10) 面接を受ける	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
13 /	聴解・口頭表現(11) 報告をする	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
14 /	聴解・口頭表現(12) スピーチをする	清水	講義と演習	口頭発表の準備	60
15 /	口頭発表とまとめ	清水	講義と発表	今学期に習ったところを確認・整理しておく	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
日本語Ⅱ	清水 美里(専 任)	1年次	後期	1	演習	選択	実務経験
Japanese II							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・大学生として必要な日本語を身につけ、運用できる。							
授業の内容 さまざまなタイプの文章を読んだり聞いたりして、自分の考えを述べる。 ディスカッションなどをおして、意見のやり取りをする。 なお、この授業は外国人留学生対象科目である。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業のとき、辞書（電子辞書でもよい）を持ってくること。 配付したプリントを入れるファイルを準備すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題は添削をして、次の授業のときに返却する。 <input type="checkbox"/> 頭発表などの活動はそのときにコメント指導する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	積極性などの受講態度によって評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	60	授業課題の達成度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	清水研究室 水曜日 13時～15時						
担当教員E-mail	misato-shimizu@sumire.ac.jp（清水）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	読解・口頭表現 説明文を読む(1)	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
2 /	読解・口頭表現 説明文を読む(2)	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
3 /	読解・口頭表現 エッセーを読む	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
4 /	読解・口頭表現 レポートを読む(1)	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
5 /	読解・口頭表現 レポートを読む(2)	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
6 /	聴解・口頭表現 ニュースを聞く(1)	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
7 /	聴解・口頭表現 ニュースを聞く(2)	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
8 /	聴解・口頭表現 ニュースを聞く(3)	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
9 /	聴解・口頭表現 ニュースを聞く(4)	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
10 /	聴解・口頭表現 ニュースを聞く(5)	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
11 /	聴解・口頭表現 ニュースを聞く(6)	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
12 /	読解・口頭表現 新聞記事を読む(1)	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
13 /	読解・口頭表現 新聞記事を読む(2)	清水	講義と演習	習った表現や語彙を復習しておく	60
14 /	読解・口頭表現 新聞記事を読む(3)	清水	講義と演習	新聞記事を選び口頭発表の準備	60
15 /	口頭発表とまとめ	清水	講義と発表	今学期に習ったところを確認・整理しておく	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
英語 I	篠 直樹(非常勤)	1年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
English I							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・基礎的な英単語・英文法を理解できる。 ・英語の「読む・書く・聴く・話す」力を向上させる。 ・英語で自己表現することができる。							
授業の内容 この授業では、 1. 身近な科学にまつわる文章を題材に、基礎的な語彙・文法を習得し、読む・書く力を涵養する。 2. 関連する実用的な表現を学び、聴く・話す力を涵養する。 具体的には、科学に関する幅広いトピックを扱ったやさしめの英文を読み、英文読解の力を育む。また、英文で使用される表現を習得することでライティングやスピーキング力の向上を図るとともに、授業中に行う英文の聞き取りを通してリスニングの力を身につける。そして、総合的な英語力を高められるようになる。							
教科書	『New Moments in Science——やさしい生活科学』 Karl Kruszelnicki、小中 秀彦（成美堂出版） 価格（本体1,800円＋税）						
参考書	『英文法解説』（江川泰一郎 著、金子出版） 『ジーニアス総合英語』（中邑光男 著、大修館書店）						
担当者からのメッセージ	本授業は演習形式をとるため、毎回の授業への予習が必須である。 授業態度に関しては毎回の発言や積極的に授業に臨む姿勢を評価の対象とする。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	学期中に数回、小テストを行い、採点后に返却する。クラス全体で間違いが多かった点については授業中に再度復習する。 また、学期末に試験を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業中の発言・予習態度を平常点に組み入れる				
	授業内試験	20	学期中に数回の小テストを行う				
	定期試験	50	学期末に授業全体の理解を問う試験を行う				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける また、随時、電子メールにて質問を受け付ける						
担当教員E-mail	nshino0605@gmail.com（篠）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	導入(本授業について) Chapter 1. 医学的な真実	篠	演習	Chapter 1 の WARM-UP, READINGパートの予習をし てくること	60
2 /	Chapter 2. テレビを見ると太る？	篠	演習	Chapter 2のListeningを除い た部分を予習してくる	90
3 /	Chapter 3. メラトニンと時差ぼけ	篠	演習	Chapter 3のListeningを除い た部分を予習してくる	90
4 /	Chapter 4. 人体の不思議——発熱	篠	演習	Chapter 4のListeningを除い た部分を予習してくる	90
5 /	Chapter 7. 心肺機能蘇生法	篠	演習	Chapter 7のListeningを除い た部分を予習してくる	90
6 /	Chapter 10. 不思議なホルモン——メラト ニン	篠	演習	Chapter 10のListeningを除 いた部分を予習してくる	90
7 /	Chapter 12. カフェインは危険なアルカロ イド？	篠	演習	Chapter 12のListeningを除 いた部分を予習してくる	90
8 /	Chapter 13. 人体の不思議——体温	篠	演習	Chapter 13のListeningを除 いた部分を予習してくる	90
9 /	Chapter 14. テレビではうそがわかりにく い？	篠	演習	Chapter 14のListeningを除 いた部分を予習してくる	90
10 /	Chapter 15. ブロココリーは万能薬？	篠	演習	Chapter 15のListeningを除 いた部分を予習してくる	90
11 /	Chapter 16. スミスさんはテラーさんよ り重い？	篠	演習	Chapter 16のListeningを除 いた部分を予習してくる	90
12 /	Chapter 17. 幼児期にテレビを見すぎると 攻撃的になる？	篠	演習	Chapter 17のListeningを除 いた部分を予習してくる	90
13 /	Chapter 18. 雨が降ったら、走る？それと も歩く？	篠	演習	Chapter 18のListeningを除 いた部分を予習してくる	90
14 /	Chapter 19. 姓の登場	篠	演習	Chapter 19のListeningを除 いた部分を予習してくる	90
15 /	Chapter 20. 姓はどのようにつけられた か？ まとめ	篠	演習	Chapter 20のListeningを除 いた部分を予習してくる	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
英語 I	内田 幸代(非常勤)	1年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
English I							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・基礎的な英単語・英文法を理解できる。 ・英語の「読む・書く・聴く・話す」力を向上させる。 ・英語で自己表現をすることができる。							
授業の内容 この講座では、 1.さまざまな場面に応じて書かれた英文メールを読む。 2.英文メールの内容を日本語で理解した後、発音を磨きながら音読練習を行う。音読と並行してリスニングの力も養う。 3.サンプル英文メールを参考にしながら、メール作成の演習を行う。 4.時事問題を易しい英語で読み、日本や世界の動きを知り、ペアやグループで意見を交換し合う。 5.日本の伝統文化の一つ「折り紙」を、英語での説明文に沿って実際に折る演習を行う。 6.おもてなしのマナーについてのミニ知識も習得していく。 7.自分が作成した英文メールを紹介する。その際「ペアでメール交換・読み合わせ」「グループで輪読」「全体へのプレゼンテーション」等を行う。							
教科書	『Write Me Back Soon! Eメールで学ぶ英文ライティングの基礎』 成岡恵子 (金星堂) 価格(本体2,000円+税)						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	以下を「受講態度」の評価とする。 1. 課題の「英文メール」を仕上げ、遅れずに提出すること。 2. 発表の際は、大きな声で積極的に発表すること。 連絡 辞書(電子辞書可)を毎授業に持参すること。 配付されたプリントが、どれでも簡単に、何度でも取り出せるファイルを用意すること。(クリアファイル不可)						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出された課題は、次時に添削をして返却する。 授業中に実施した小テストは、採点し次時に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	発表には、練習を繰り返し熱心に取り組むこと				
	授業内試験	20	音読テスト・単語テスト等を実施する				
	定期試験	50	授業の内容についての理解度を「書くこと」で評価する				
	レポート	20	学んだ場面に応じて、適切な内容の英文メールが作成できること				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	yukiyo0715@gmail.com (内田)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション・シラバスの説明 Unit 1: 自己紹介をするメールを読み、書く	内田	講義と演習 □頭での練習と対話	復習: 自己紹介をするメールを仕上げる	60
2 /	Unit 2: 依頼をするメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む 英語で折り紙:「箸置き」	内田	講義と演習 □頭での練習と発表	復習: 依頼をするメールを仕上げる	60
3 /	Unit 5: 約束を取りつけるメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む One Point 音声学	内田	講義と演習 □頭での練習と発表 小テスト	復習: 約束をとりつけるメールを仕上げる	60
4 /	Unit 6: 謝罪を伝えるメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む アルファベットの文字と音の関係	内田	講義と演習 □頭での練習と発表 小テスト	復習: 謝罪を伝えるメールを仕上げる	60
5 /	Unit 7: 予約するメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む アルファベットの筆記体文字	内田	講義と演習 □頭での練習と発表	復習: 予約するメールを仕上げる	60
6 /	Unit 8: 苦情を述べるメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む	内田	講義と演習 □頭での練習と発表 小テスト	復習: 苦情を述べるメールを仕上げる	60
7 /	Unit 9: 招待するメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む 英語で折り紙:「箸入れ」	内田	講義と演習 □頭での練習と発表	復習: 招待するメールを仕上げる	60
8 /	Unit 11: リマインダーメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む 母音のフォニックス	内田	講義と演習 □頭での練習と発表 小テスト	復習: リマインダーメールを仕上げる	60
9 /	Unit 12: 誘いを断るメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む 英語で折り紙:「紙鉄砲」	内田	講義と演習 □頭での練習と発表 小テスト	復習: 誘いを断るメールを仕上げる	60
10 /	Unit 13: 励ますメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む 英語で折り紙:「コースター」	内田	講義と演習 □頭での練習と発表 小テスト	復習: 励ますメールを仕上げる	60
11 /	Unit 14: 祝福するメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む 紛らわしい発音とその文字	内田	講義と演習 □頭での練習と発表 小テスト	復習: 祝福するメールを仕上げる	60
12 /	Unit 17: 感謝の意を述べるメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む 子音のフォニックス	内田	講義と演習 □頭での練習と発表	復習: 感謝の意を述べるメールを仕上げる	60
13 /	Unit 19: お見舞いの気持ちを伝えるメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む 英語で折り紙:「ランチボックス」	内田	講義と演習 □頭での練習と発表 小テスト	復習: お見舞いの気持ちを伝えるメールを仕上げる	60
14 /	Unit 21: 季節の挨拶をするメールを読み、書く 時事英語ニュースを読む 英語で折り紙:「紙風船」	内田	講義と演習 □頭での練習と発表 小テスト	復習: 季節の挨拶をするメールを仕上げる	60
15 /	Unit 24: お悔みを述べるメールを読み、書く 英語で履歴書を書く 発音記号	内田	講義と演習 定期試験対策	復習: お悔みを述べるメールを仕上げる	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
英語Ⅱ	篠 直樹(非常勤)	1年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
English II							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・応用的な英語力を養うことができる。 ・英会話を日常生活で使うことができる。 ・英語で自分の意志と感情を伝えることができる。							
授業の内容 この授業では、 1. 身近な科学にまつわる文章を題材に、基礎的な語彙・文法を習得し、読む・書く力を涵養する。 2. 関連する実用的な表現を学び、聴く・話す力を涵養する。 具体的には、様々な科学に関する英文のエッセイを読み、リーディングの力をつけると共に、英文中の表現を習得しライティング・スピーキング能力の向上を図る。 また、授業内に予習で取り組んだ英文に関するリスニングの練習も行い、総合的な英語力を身につける。							
教科書	『Science in Focus—世界を見渡す科学の眼』 Kevin Cleary、野崎 嘉信、松本 和子 (成美堂出版) 価格(本体1,900円+税)						
参考書	『英文法解説』(江川泰一郎 著、金子書房) 『ジーニアス総合英語』(中邑光男 著、大修館書店)						
担当者からのメッセージ	英語Ⅰ同様、本授業は演習形式であるので、予習は必須である。 また、授業中の積極的な発言・クラス全体への貢献を評価に組み入れる。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	期間内に、数回の小テストを行う。小テストは採点后に返却し、間違いの多かった問題や注意を要する問題に関して解説を行う。 学期末に行う試験は、授業全体の理解度を図るものである。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業に臨む際の予習態度、授業中の発言を平常点として組み入れる				
	授業内試験	20	学期中にこれまでの授業内容に関する、数回の小テストを行う				
	定期試験	50	学期末に行う試験は授業全体の理解度を問う				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける また、随時、電子メールで質問を受け付ける						
担当教員E-mail	nshino0605@gmail.com (篠)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	導入(本授業について) Unit 1. 氷がなくなる	篠	演習	Unit 1 の Vocabulary Check、Readingパートの予 習を行う	60
2 /	Unit 2. 注目を集める太陽系外惑星	篠	演習	Unit 2の予習を行う	120
3 /	Unit 3. 医療の原点にかえる	篠	演習	Unit 3の予習を行う	120
4 /	Unit 4. 限りある資源と向き合う	篠	演習	Unit 4の予習を行う	120
5 /	Unit 5. 21世紀の医療モデル	篠	演習	Unit 5の予習を行う	120
6 /	Unit 6. 耳に心地よい楽音	篠	演習	Unit 6の予習を行う	120
7 /	Unit 7. リラックスの効用	篠	演習	Unit 7の予習を行う	120
8 /	Unit 8. 森の香りでリフレッシュ	篠	演習	Unit 8の予習を行う	120
9 /	Unit 9. 人とヒューマノイドの境界	篠	演習	Unit 9の予習を行う	120
10 /	Unit 10. 再生可能エネルギー実用化の道	篠	演習	Unit 10の予習を行う	120
11 /	Unit 11. 未来に向かって走る電気自動車	篠	演習	Unit 11の予習を行う	120
12 /	Unit 12. 美とテクノロジー	篠	演習	Unit 12の予習を行う	120
13 /	Unit 13. 自然がモデル	篠	演習	Unit 13の予習を行う	120
14 /	Unit 14. 「顧みられない熱帯病」と闘う	篠	演習	Unit 14の予習を行う	120
15 /	Unit 15. 健康な食生活をデザインする まとめ	篠	演習	Unit 15の予習を行う	120
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
英語Ⅱ	内田 幸代(非常勤)	1年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
English II							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・応用的な英語力を養うことができる。 ・英会話を日常生活で使うことができる。 ・英語で自分の意志と感情を伝えることができる。							
授業の内容 この講座では 1. 「世界の童話（短編）」を音読トレーニング法を用いて学ぶ。 2. 本文を黙読し内容を理解した後、さまざまな音読トレーニングの手法を用いて音読を繰り返し行う。 3. 表現力（＝リズム・強調・イントネーション）豊かに英語を音読しながら、同時に英語を聞く力を養い、「相手に伝わる英語」を身につけていく。 4. 音読の仕上げには、ペアチェック・音読発表・暗唱・模擬通訳などを行う。 5. 日本語で読んだ時事ニュースを、易しい英語を使って短く書き直し、クラスで紹介する。 6. プレゼンテーションも行う。（自分で物語をretoldしたもの、紙芝居にしたものなど）							
教科書	『みんなの英語音読（世界の童話編）』 パククアンヒ カナダ教師英語朗読訓練研究チーム著 鈴木政浩監修（株式会社ask 出版） 価格（本体1,600円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	以下を「受講態度」の評価とする。 1. 授業の中で行う音読練習に、しっかり声を出し積極的に取り組むこと。 2. 前に出て発表を行う際は、大きな声で表現力豊かに発表し、同時に他の人の発表は静かに聞くこと。 連絡 配付されたプリントが、どれでも簡単に何度でも取り出せるファイルを用意すること。（クリアファイル不可） 辞書（電子辞書可）を毎授業持参すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業中に行う小テスト(単語テストなど)は、採点し結果を次時に返却する。 発音習熟度を確認するために、音声テストを実施する。 「日本語で読んだ時事ニュースを、易しい英語で紹介」レポートは、優秀な作品を授業で共有、読み合わせをする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	発表には、練習を繰り返し熱心に取り組むこと				
	授業内試験	20	音読テスト・音声(発音)テスト・単語テスト等を実施する				
	定期試験	50	授業の内容についての理解度を「書くこと」で評価する				
	レポート	20	「日本語で読んだ時事ニュースを易しい英語で紹介」レポートを提出する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	yukiyo0715@gmail.com（内田）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション・シラバスの説明 The Horse and the Ass 馬とロバ	内田	講義と演習及び小テスト	予習:「みにくいアヒルの子」 を読んでくる	60
2 /	The Ugly Duckling みにくいアヒルの子 Small World News	内田	講義と演習及び小テスト □頭での練習と発表	予習:「アシとオリーブの木」 を読んでくる	60
3 /	The Tree and the Reed アシとオリーブの木 * The Ugly Duckling の音読発表	内田	講義と演習及び小テスト 音読発表テスト	予習:「ライオンの分け前」を 読んでくる	60
4 /	The Lion's Share ライオンの分け前 Small World News	内田	講義と演習及び小テスト □頭での練習と発表	予習:「キツネとブドウ」を読 んでくる	60
5 /	The Fox and the Grapes キツネとブドウ Small World News	内田	講義と演習及び小テスト □頭での練習と発表	予習:「羊飼いの少年と狼」を 読んでくる	60
6 /	The Sheperd's Boy 羊飼いの少年と狼 * The Fox and the Grapes の音読発表	内田	講義と演習及び小テスト 音読発表テスト	予習:「少女と3匹のクマ」を 読んでくる Retelling 発表に向けての練習	60
7 /	Goldilocks and the Three Bears 少女と3匹のクマ Small World News	内田	講義と演習及び小テスト □頭での練習と発表	予習:「金の卵を産むガチョウ」 を読んでくる	60
8 /	The Goose with the Golden Eggs 金の卵を産むガチョウ Small World News	内田	講義と演習及び小テスト □頭での練習と発表	予習:「おなかと他の部分」を 読んでくる	60
9 /	The Belly and the Members おなかと他の部分 Small World News	内田	講義と演習及び小テスト □頭での練習と発表	予習:「眠れる森の美女」を読 んでくる	60
10 /	Sleeping Beauty 眠れる森の美女 * The Belly and the Members の 音読発表(通訳の練習)	内田	講義と演習及び小テスト 音読発表テスト	予習:「ジャックと豆の木」を 読んでくる	60
11 /	Jack and the Beanstalk ジャックと豆の木 * Sleeping Beauty の音読発表	内田	講義と演習及び小テスト 音読発表テスト	予習:「白雪姫と七人のこびと」 を読んでくる	60
12 /	Snow White and the Seven Dwarfs 白雪姫と七人のこびと * Jack and the Beanstalk の音読発表	内田	講義と演習及び小テスト 音読発表テスト	予習:「ピノキオの冒険」を読 んでくる	60
13 /	The Adventure of Pinocchio ピノキオの冒険 Snow White and the Seven Dwarfs の 紙芝居を使った暗唱発表	内田	講義と演習及び小テスト 暗唱発表テスト	予習:「シンデレラ」を読ん でくる	60
14 /	Cinderella シンデレラ	内田	講義と演習及び小テスト □頭での練習と発表	予習:「ヘンゼルとグレーテル」 を読む	60
15 /	Hansel and Gretel ヘンゼルとグレーテル 定期試験対策と演習	内田	講義と演習及び小テスト 定期考査のための対策と演 習	復習:定期考査のために、学 んだこと全般の見直しをする	120
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
フランス語Ⅰ	柴田 秀樹(非常勤)	1年次	前期	1	演習	選択	実務経験
French I							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・フランス語の基礎文法を学習する。 ・フランス語での簡単な会話ができるようになる。							
授業の内容 フランス語はファッションや料理、映画やアートなど、さまざまな分野で用いられている。 フランス語を学ぶことは、こうした分野への関心や理解を深め、世界を広げることにつながるだろう。この授業では、基礎的な文法の学習と会話練習を中軸とし、折に触れてフランス語に関係する分野に言及する。							
教科書	なし						
参考書	『Qu'est-ce que c'est?』伊勢晃ほか著（白水社） 価格（本体2,300円+税）						
担当者からのメッセージ	学期半ばの小テストと、期末の定期試験の成績に、受講態度を加味して成績評価を行う。 文法の学習と会話練習を平行して行うため、静粛かつ積極的に受講する態度を評価する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	学期半ばの小テストについては、テスト翌週の授業で総括と復習を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度（30点満点）で評価する				
	授業内試験	20	八回目の授業で小テスト（筆記試験）を行い、20点満点で評価する				
	定期試験	50	理解度確認のための筆記試験を行い、50点満点で評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	shibatahideki1987@gmail.com（柴田）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	アルファベット 発音の規則 あいさつ	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
2 /	身近なフランス語単語 0から10の数字	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
3 /	名詞の性	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
4 /	-er動詞の活用と主語人称代名詞	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
5 /	-er動詞の活用と否定形	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
6 /	etreの活用	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
7 /	冠詞、etreを用いた自己紹介	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
8 /	復習と小テスト	柴田	演習 小テスト	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
9 /	avoirの活用	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
10 /	avoirを用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
11 /	aller、venir、faireの活用	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
12 /	aller、venir、faireを用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
13 /	形容詞	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする) 復習	60
14 /	形容詞を用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
15 /	復習と練習問題	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
フランス語Ⅱ	柴田 秀樹(非常勤)	1年次	後期	1	演習	選択	実務経験
French II							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・フランス語の基礎文法を身につけることができる。 ・フランス語での簡単な会話ができるようになる。							
授業の内容 フランス語はファッションや料理、映画やアートなど、さまざまな分野で用いられている。 フランス語を学ぶことは、こうした分野への関心や理解を深め、世界を広げることにつながるだろう。この授業では、初級で学んだ文法事項を基盤として、より実践的な文法の学習と会話練習を行う。折に触れてフランス語に関係する分野に言及する。							
教科書	なし						
参考書	『Qu'est-ce que c'est?』伊勢晃ほか著（白水社） 価格（本体2,300円+税）						
担当者からのメッセージ	学期半ばの小テストと、期末の定期試験の成績に、受講態度を加味して成績評価を行う。文法の学習と会話練習を平行して行うため、静粛かつ積極的に受講する態度を評価する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	学期半ばの小テストについては、テスト翌週の授業で総括と復習を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度（30点満点）で評価する				
	授業内試験	20	八回目の授業で小テスト（筆記試験）を行い、20点満点で評価する				
	定期試験	50	理解度確認のための筆記試験を行い、50点満点で評価する				
	レポート						
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	shibatahideki1987@gmail.com（柴田）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	初級の復習 あいさつ	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
2 /	faireの活用、12ヶ月の呼び方、序数	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
3 /	疑問文の作り方	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
4 /	命令法	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
5 /	vouloir、pouvoir、devoirの活用	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
6 /	vouloir、pouvoir、devoirを用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
7 /	所有形容詞、指示形容詞	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
8 /	復習と小テスト	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
9 /	複合過去	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
10 /	複合過去を用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
11 /	近接未来と近接過去	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
12 /	近接未来と近接過去を用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
13 /	代名詞	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
14 /	代名詞を用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
15 /	復習と練習問題	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
中国語 I	李 景芳(非常勤)	1年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
Chinese I							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・中国語の基礎となる発音、文の仕組みを理解する。 ・簡単な中国語会話が出来る。 ・同時に、異文化への関心、理解も深める。							
授業の内容 発音はことばの基礎です。この授業ではテキストを中心に中国の共通語である「普通話」の発音、声調、発音符号を中心に基礎的な練習を重ねながら、基本文型、文法を学び、中国人とやさしい日常会話ができることを目標に授業を進めていきます。また副読本も併用して、ことばを理解する背景としての“異文化”への理解を深めます。							
教科書	『実学実用 初級中国語 ライト版』 陳 淑梅・劉 光赤著（朝日出版社） 価格（本体2,300円＋税） 『日本人の不信感 中国人の本心』 李 景芳著（さくら舎） 価格（本体1,400円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業中の私語、ゲーム、スマホ・携帯の使用は厳に慎んでください。 受講態度は、取り組みの積極性を評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業中にその場でチェックし、学生へ伝えます。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	授業態度				
	授業内試験	80	授業内容の理解度の確認				
	定期試験						
	レポート						
	その他	10	会話練習の積極性				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	中国語について	李	講義	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
2 /	発音、声調、発音符号の練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
3 /	第一課 本文説明 「こんにちは！」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
4 /	第一課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
5 /	第二課 本文説明 「これは何ですか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
6 /	第二課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
7 /	第三課 本文説明 「どこへ行きますか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
8 /	第三課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
9 /	第四課 本文説明 「いくつほしいですか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
10 /	第四課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
11 /	第五課 本文説明 「何曜日、アルバイトに行きますか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
12 /	第五課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
13 /	第六課 本文説明 「今日の授業は終わりましたか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
14 /	第六課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
15 /	まとめとテスト	李	学習の総括とテスト	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
中国語Ⅱ	李 景芳(非常勤)	1年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
Chinese II							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・中国語の基礎となる発音、文の仕組みを理解する。 ・簡単な中国語会話が出来る。 ・同時に、異文化への関心、理解も深める。							
授業の内容 中国語Ⅰの履修者を対象に、テキストを中心に中国の共通語である「普通話」の発音、声調、発音符号を中心に基礎的な練習を重ねながら、基本文型、文法を学び、中国人とやさしい日常会話ができることを目標に学習を発展させていきます。また副読本も併用して、ことばを理解する背景としての「異文化」への理解を深めます。中国映画から学ぶ授業も計画しています。							
教科書	『実学実用 初級中国語 ライト版』 陳淑梅・劉光赤 著（朝日出版社） 価格（本体2,300円＋税） 『日本人の不信感 中国人の本心』 李 景芳著（さくら舎） 価格（本体1,400円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業中の私語、ゲーム、スマホ・携帯の使用は厳に慎んでください。 受講態度は、取り組みの積極性を評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業中にその場でチェックし、学生へ伝えます。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	授業態度				
	授業内試験	80	授業内容の理解度の確認				
	定期試験						
	レポート						
	その他	10	会話練習の積極性				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	第七課 本文説明 「ご飯を食べましたか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
2 /	第七課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
3 /	第八課 本文説明 「富士山に登ったことがありますか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
4 /	第八課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
5 /	第九課 本文説明 「何をしていますか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
6 /	第九課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
7 /	第十課 本文説明 「趣味は何ですか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
8 /	第十課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
9 /	第十一課 本文説明 「この靴はどうですか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
10 /	第十一課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
11 /	第十二課 本文説明 「お誕生日おめでとう」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
12 /	第十二課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
13 /	第十三課 本文説明 「映画、もうすぐ始まります」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
14 /	第十三課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
15 /	まとめ	李	学習の総括とテスト	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
キャリア基礎演習 (食健康)	山岡ひとみ(専 任)	1年次	前期	1	演習	食健康/必修	○
							実務経験
Basic Exercises for Carrier							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・短大生活の間に、自分自身の生涯のキャリア形成を考えるために必要な基礎知識を修得する。 ・社会人としての基礎的な知識を身につけ、一般常識やマナーを修得する。							
授業の内容 本学の「実学教育」は、単に多種多様の免許・資格を取得するだけではなく、社会人として必要な知識・技能・コミュニケーション能力などを身に付け、生涯にわたる生活を豊かなものとする将来設計を築くことができるような基礎教育である。 1. 自分自身が取得したいと考えている資格や免許のための学習に必要な基礎知識を再確認し、授業をより理解し深められるよう、各学科・各コースごとに内容を設定して学習する。また、世界情勢や政治・経済情勢などにも興味をもち、理解することができるようにする。 2. 本授業の主たる目標は、この授業をきっかけに、「自分自身で学ぶ」力、「自分で目標を定めて次のステップに進んでいく」力、「自分自身の変化に気づき生き方を考える」力、を身につけていくことである。 授業のまとめとして、少人数のグループで課題を解決する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業当初から作成していく「マイキャリアファイル」を利用して、学習成果を確認し、自分自身の変化を見つめていけるよう工夫する。 積極的に自分自身で学習していく努力をおおいに評価する。 毎回の内容を必ず「マイキャリアファイル」としてまとめ、2年次開講の「キャリアデザイン演習」とあわせて2年間にわたる記録とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	各クラス担当者が翌週までにコメントしマイキャリアファイルを返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業中、課題に積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	マイキャリアファイルの完成度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、掲示板により周知する						
担当教員E-mail	h-yamaoka@sumire.ac.jp (山岡)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション キャリア・プロローグ 基礎学力テスト	清水	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
2 /	キャリアについて 漢字テスト(1)	笹倉	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
3 /	ノートの取り方 漢字テスト(2)	中平	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
4 /	手紙・はがきのマナー 漢字テスト(3)	笹倉	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
5 /	文書の書き方(1)(2) 漢字テスト(4) 話し言葉から書き言葉へ、正しい構造の文章 を書く	山岡	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
6 /	文書の書き方(3) 漢字テスト(5) 要約文を書く	笹倉	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
7 /	計算の基礎 漢字テスト(6)	中平	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
8 /	授業のまとめ	笹倉	グループワーク	配付資料を読み返す	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
キャリア基礎演習 (製菓・製パン／ライフ)	山岡ひとみ(専 任)	1年次	前期	1	演習	製菓・製パン/ライフ/必修	○
							実務経験
Basic Exercises for Carrier							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・短大生活の間に、自分自身の生涯のキャリア形成を考えるために必要な基礎知識を修得する。 ・社会人としての基礎的な知識を身につけ、一般常識やマナーを修得する。							
授業の内容 本学の「実学教育」は、単に多種多様の免許・資格を取得するだけでなく、社会人として必要な知識・技能・コミュニケーション能力などを身に付け、生涯にわたる生活を豊かなものとする将来設計を築くことができるような基礎教育である。 1. 自分自身が取得したいと考えている資格や免許のための学習に必要な基礎知識を再確認し、授業をより理解し深められるよう、各学科・各コースごとに内容を設定して学習する。また、世界情勢や政治・経済情勢などにも興味をもち、理解することができるようにする。 2. 本授業の主たる目標は、この授業をきっかけに、「自分自身で学ぶ」力、「自分で目標を定めて次のステップに進んでいく」力、「自分自身の変化に気づき生き方を考える」力、を身につけていくことである。 授業のまとめとして、少人数のグループで協力して課題を解決する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業当初から作成していく「マイキャリアファイル」を利用して、学習成果を確認し、自分自身の変化を見つめていけるよう工夫する。 積極的に自分自身で学習していく努力をおおいに評価する。 毎回の内容を必ず「マイキャリアファイル」としてまとめ、2年次開講の「キャリアデザイン演習」とあわせて2年間にわたる記録とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	各クラス担当者が翌週までにコメントしマイキャリアファイルを返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業中、課題に積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	マイキャリアファイルの完成度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、掲示板により周知する						
担当教員E-mail	h-yamaoka@sumire.ac.jp (山岡)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション キャリア・プロローグ 基礎学力テスト	清水	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
2 /	キャリアについて 漢字テスト(1)	原	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
3 /	ノートの取り方 漢字テスト(2)	石井	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
4 /	手紙・はがきのマナー 漢字テスト(3)	清水	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
5 /	文書の書き方(1)(2) 漢字テスト(4) 話し言葉から書き言葉へ、正しい構造の文章 を書く	原	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
6 /	文書の書き方(3) 漢字テスト(5) 要約文を書く	石井	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
7 /	計算の基礎 漢字テスト(6)	清水	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
8 /	授業のまとめ	原	グループワーク	配付資料を読み返す	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
キャリア基礎演習 (幼教)	松井 典子(専 任) 他	1年次	前期	1	演習	必修	
							実務経験
Basic Exercises for Carrier							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・自分自身の生涯のキャリア形成を考えるために必要な基礎知識を得ることができる。 ・社会人としての基礎的な知識を身につけ、一般常識やマナーを得ることができる。							
授業の内容 本学の「実学教育」は、単に多種多様の免許・資格を取得するだけでなく、社会人として必要な知識・技能・コミュニケーション能力などを身につけ、生涯にわたる生活を豊かなものとする将来設計を築くことができるような基礎教育である。 1. 自分自身が取得したいと考えている資格や免許のための学習に必要な基礎知識を再確認し、授業をより理解し深められるよう、各学科ごとに内容を設定して学習する。また、世界情勢や政治・経済情勢などにも興味をもち、理解することができるようにする。 2. 本授業の主たる目標は、この授業をきっかけに、「自分自身で学ぶ」力、「自分で目標を定めて次のステップに進んでいく」力、「自分自身の変化に気付き生き方を考える」力、を身につけていくことである。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業の聴講態度、「マイキャリアファイル」の完成状況により、成績を評価する。 授業当初から作成していく「マイキャリアファイル」を利用して、学習成果を確認し、自分自身の変化を見つめていけるよう工夫する。 積極的に自分自身で学習していく努力を大いに評価する。 毎回の内容を必ず「マイキャリアファイル」としてまとめ、2年次開講の「キャリアデザイン演習」とあわせて2年間にわたる記録とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	キャリアファイルについては毎回感想を記入しクラス担当教員に提出する。感想に対して担当教員がコメントや検印を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業の中で課題への積極的、意欲的取り組み等、受講態度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	マイキャリアファイルの充実度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、教務課の掲示板により周知する						
担当教員E-mail	n-matsui@sumire.ac.jp (松井)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	確認テスト	松井 他	試験	入学前課題にとりくむ	120
2 /	オリエンテーション キャリア・プロローグ	松井 他	導入講義 個人ワーク 表現力テスト	配付資料を読み返す	30
3 /	文章の書き方(1) 話しことばから書きことばへ	松井 他	導入講義 個人ワーク 表現力テスト	配付資料を読み返す	30
4 /	文章の書き方(2) 正しい構造の文章とは	松井 他	導入講義 個人ワーク 表現力テスト	配付資料を読み返す	30
5 /	文章の書き方(3) 文章の要約	松井 他	導入講義 個人ワーク 表現力テスト	配付資料を読み返す	30
6 /	知っていますか日本のこと	松井 他	導入講義 個人ワーク 表現力テスト	配付資料を読み返す	30
7 /	話題のことば	松井 他	導入講義 個人ワーク 表現力テスト	配付資料を読み返す	30
8 /	授業のまとめ	松井 他	試験	これまでの配付資料に目を通しておく	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
キャリア基礎演習 (ビジコミ)	江見 和明(専任) 他	1年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Basic Exercises for Carrier							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・自分自身の生涯のキャリア形成を考えるために必要な基礎知識を修得し、それを活用できる。 ・働くとはどうしたことか、社会人とは何かということについて、自分なりの考えを持てるようになる。 ・就職活動を行うために必要な準備をする。							
授業の内容 本講義では、様々な業種や職種についての知識を身に付け、キャリア形成や職業人としての意識をどう持つべきかということについて考える。また、就職活動を進めるうえで必要な準備を整えることも目的とする。 授業では様々なテーマでグループディスカッションを行う(アクティブラーニング)。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	今後のキャリア形成を考えるうえで大切なことを学びます。意識を高く持ち、毎回積極的な姿勢で参加してください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出された課題は、コメントしたうえで返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業への参加姿勢				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	毎回の講義で学んだことを提出してもらう				
自由記載							
オフィスアワー	google classroomで質問を受け付ける						
担当教員E-mail	k-emi@sumire.ac.jp (江見) r-izawa@sumire.ac.jp (伊澤)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	入学前課題確認テスト	堀池	テスト	できなかった問題を復習する	90
2 /	キャリアとは何か	江見	演習とグループワーク	マイキャリアファイルの作成	90
3 /	職業人意識 働くことの意義	外部講師 小山内	演習とグループワーク	マイキャリアファイルの作成	90
4 /	社会人基礎力 チームで働く力	外部講師 山中	演習とグループワーク	マイキャリアファイルの作成	90
5 /	就職活動の仕組み	外部講師 伊澤	演習とグループワーク	マイキャリアファイルの作成	90
6 /	業界・企業研究の基本	外部講師 沖山	演習とグループワーク	マイキャリアファイルの作成	90
7 /	ポジティブシンキング	中村	演習とグループワーク	マイキャリアファイルの作成	90
8 /	エントリーシート・応募書類の書き方	外部講師 若生	演習とグループワーク	マイキャリアファイルの作成	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
生活文化入門	清水まゆみ(専 任) 他	1年次	前期集中	1	講義	選択	○
							実務経験
							○
Introduction to Life Culture							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・生活を送るうえで役立つ知識や技術を身につける。 ・日常生活について考え、興味を持つようになる。 ・自分自身の生活を理論的に捉えられる。							
授業の内容 生活を豊かにするための知識や技術について学び、実習や演習により専門課程に必要な基本技術を身につける。食と健康では生活と健康の関わりを食を通して理解する。製菓分野では滋賀県の有名企業でパティシエとして勤務経験のある教員により実習を行う。ファッション分野では衣生活を彩る作品作りを行う。							
教科書	なし						
参考書	担当教員が随時紹介する						
担当者からのメッセージ	日常生活に興味・関心を持ち、理論的に捉えてみましょう。授業では意欲的に学ぼうとする態度を評価します。得られた知識や技術を、日々の生活にどのように活かせるか考えてください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出後、内容を確認して返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	積極的に受講しているかを評価する				
	授業内試験	20	理解度確認のためのテストを実施する				
	定期試験						
	レポート						
	その他	20	製作物等の完成度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	m-shimizu@sumire.ac.jp（清水）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	世界の主食ートウモロコシ編ー	中平	講義	授業内容を復習し、まとめる	60
2 /	食品の分析	清水	演習	授業内容を復習し、まとめる	60
3 /	食べ物の本物?偽物?	原	演習	授業内容を復習し、まとめる	60
4 /	自立するということ	笹倉	講義・演習	授業内容を復習し、まとめる	60
5 /	パティシエ気分	石井	演習	授業内容を復習し、まとめる	60
6 /	給食ができるまでを知ろう	山岡	講義	授業内容を復習し、まとめる	60
7 /	日常で使う贈り物のマナー	灰藤	演習	授業内容を復習し、まとめる	60
8 /	ドレスコラージュ	河村	演習	授業内容を復習し、まとめる	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子ども理解入門	北尾 岳夫(専 任)・柚木たまみ(専 任)・深尾 秀一(専 任) 久米 央也(専 任)・李 震(専 任)・三上 佳子(専 任) 松井 典子(専 任)・永久 欣也(専 任)	1年次	前期集中	1	演習	選択	実務経験
Introduction of Understanding Children							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・乳幼児の保育・教育に必要な基礎的事項を理解し説明ができる。 ・保育者養成コースでの学びの概要を理解し説明ができる。 ・保育者をめざす学生の心構えを理解し説明ができる。							
授業の内容 様々な専門領域を持つ教員による授業の中で、乳幼児期の子どもに必要な保育・教育の基礎的な部分について講義を行う。また、保育者養成コースでの学びの流れや、保育者をめざす学生としての心構えについても説明する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	将来的に保育者になることを目指し、保育者養成コースを有する学校への進学を希望する者の受講を認める。附属高校の生徒を対象とした講座であるが、本学で認められる単位が付与される意味を十分に理解して受講すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	最終的な授業全体にわたる試験は実施しないが、各授業内で課題（小テスト含む）が出されることがある。授業内で生じた疑問点などは、毎授業終了時に担当教員へ伝えること。その場で回答できなかったものについては、高校で本講義を担当される先生を通じて行うこととする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	授業時の不適切行為に対する減点				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	60	担当教員による授業の理解評価				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	t.kitao@kitaosumire.ac.jp (北尾) h.fukao@sumire.ac.jp (深尾) t.yunoki@sumire.ac.jp (柚木) h.kume@sumire.ac.jp (久米) k.lee@sumire.ac.jp (李) y.mikami@sumire.ac.jp (三上) n.matsui@sumire.ac.jp (松井) k.nagahisa@sumire.ac.jp (永久)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス	柚木	講義と演習及び質疑応答	授業の内容を整理する	90
2 /	乳幼児期の造形遊び	深尾	講義と演習及び質疑応答	授業の内容を整理する	90
3 /	幼児の中の算数	久米	講義と演習及び質疑応答	授業の内容を整理する	90
4 /	幼児期の教育について	李	講義と演習及び質疑応答	授業の内容を整理する	90
5 /	遊びを通して子どもを知る	三上	講義と演習及び質疑応答	授業の内容を整理する	90
6 /	乳幼児期の音楽遊び	松井	講義と演習及び質疑応答	授業の内容を整理する	90
7 /	多文化共生の保育	永久	講義と演習及び質疑応答	授業の内容を整理する	90
8 /	保育を学ぶ学生として	北尾	講義と演習及び質疑応答	授業の内容を整理する	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
ビジネス入門	沖山 圭子(専 任)・小山内幸治(専 任)・山中 博史(専 任) 江見 和明(専 任)・若生眞理子(専 任)・中村 吉弘(専 任) 伊澤 亮介(専 任)	1年次	前期集中	1	講義	選択	○
							実務経験
							○
Introduction to Business							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・ビジネスに関する基礎知識を身につける。 ・企業経営の仕組み、IT（情報技術）、ビジネスマナー、ホスピタリティ・マインドについて理解できるようになる。 ・医療とホスピタリティ、医療の基礎について理解し、医療ビジネスへの関心をもつ。							
授業の内容 企業や医療の現場で勤務した経験をもつ教員が担当する。 本講義は、大きく分けて企業経営の基礎と、医療事務の基礎という2つの内容を柱にしている。 初学者でも理解しやすいように、具体的な事例を多く取り上げる。 授業では様々なテーマでグループディスカッションを行う（アクティブラーニング）。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	受け身の姿勢ではなく、自分から積極的に講義に参加する姿勢を大切にしてください。 自分の意見を自信をもって言うこと、他の人の発言をじっくり聞くことができるようになりましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回の講義の中での皆さんの発言や発表に対して、必要に応じてフィードバックを行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	80	講義への参加姿勢を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	毎回の講義での感想文の内容を評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	osana@sumire.ac.jp (小山内) m-wakou@sumire.ac.jp (若生) yoshi-nakamura@sumire.ac.jp (中村) hyamanaka@sumire.ac.jp (山中) k-okiyama@sumire.ac.jp (沖山) k-emi@sumire.ac.jp (江見) r-izawa@sumire.ac.jp (伊澤)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	企業経営の仕組み	江見	講義	講義内容をまとめる	60
2 /	ITとビジネス	小山内	講義	講義内容をまとめる	60
3 /	ビジネスマナーの心	若生	講義	講義内容をまとめる	60
4 /	お客様を感動させるビジネス	中村	講義	講義内容をまとめる	60
5 /	医療機関とホスピタリティ	沖山	講義	講義内容をまとめる	60
6 /	診療報酬とレセプト	沖山	講義	講義内容をまとめる	60
7 /	医療の言葉	田中	講義	講義内容をまとめる	60
8 /	クリティカルシンキング入門	伊澤	講義	講義内容をまとめる	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					